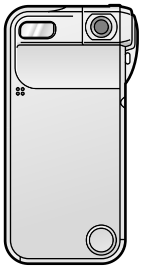


Panasonic®

取扱説明書

SD マルチカメラ

品番 SV-AS30

D-snap

上手に使って上手に節電

SD™

PictBridge

このたびは SD マルチカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（76 ～ 83 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

VQT0N04-3

もくじ

☆準備

4 付属品
5 使用するカードについて
6 使う前に
8 各部の名前
10 バッテリーやカードを入れる / 取り出す
12 バッテリーを充電する
14 電源を入れる
15 モードを切り換える
16 メニューの使いかた
18 セットアップメニューについて
20 時計を設定する
21 ショートカットメニューについて

☆記録する

22 記録する前に
23 記録する
26 カードへの記録枚数・記録時間のめやす
28 画像サイズと画質を変える
30 画像を拡大する（デジタルズーム）
30 近くにあるものにピントを合わせる（マクロ撮影）
31 画像を反転する（自分撮り）
32 フラッシュを設定する
33 セルフタイマーを使って撮る
34 自然な色合いに調整する（ホワイトバランス）
35 暗い場所で撮る（ナイトモード）
36 露出を補正する
37 ISO 感度を設定する

☆再生する

38 再生する
40 再生中に音量を調整する
41 ファイルを6枚表示する（サムネイル表示）
41 動画を繰り返し再生する（リピート再生）
42 ファイルを削除する
43 ファイルの誤消去を防止する（ロック設定）
44 拡大して見る（ターゲットズーム）
45 静止画をお気に入りに登録する
46 音楽付きスライドショーを作成する
48 静止画をスライドショーで見る
49 プリンターに直接つないでプリントする（PictBridge）
52 プリントする静止画と枚数を選ぶ（DPOF プリント）

☆音楽を再生する

54 音楽を再生する
58 プレイリストを選ぶ
58 繰り返し再生する（リピート再生）

☆パソコンで使う

59 ソフトウェアの動作環境
62 はじめてパソコンと接続する、その前に（インストール）
63 USB ドライバーをインストールする
63 SD Viewer をインストールする
65 SD-Jukebox をインストールする
66 パソコンと接続する
67 パソコンに正しく認識されているか確認する
68 USB 接続ケーブルを安全に取り外すには
69 本機で使用したカードのフォルダー構造について
70 カードのファイル（[写真]・[MPEG4]）をパソコンにコピーする
70 コピーしたファイル（[写真]・[MPEG4]）を再生する
72 SD Viewer を使う
73 SD-Jukebox を使う
75 ソフトウェアの取扱説明書を読む
75 ソフトウェアをアンインストールする

☆安全上のご注意（必ずお守りください）

76 ページ

☆使用上のお願い

84 本機について
85 AC アダプターについて
86 バッテリーについて
88 充電エラーについて
88 つゆつきについて
89 液晶モニターについて
90 カードについて
90 記録されるファイルについて
91 フォーマットについて
91 デモモードについて

☆海外で使う 92 ページ

☆画面の表示 94 ページ

☆メッセージ表示 96 ページ

☆困ったときは（Q&A） 98 ページ

☆さくいん 102 ページ

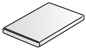
☆仕様 104 ページ

☆保証とアフターサービス（必ずお読みください） 106 ページ

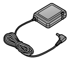
付属品

ご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることを確かめてください。（記載の品番は 2004 年 9 月現在）

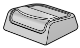
SDメモリーカードは別売です

バッテリーパック
VW-VBA05


リモコン
N2QCBD000045

AC アダプター
VSK0668


ステレオインサイドホン
L0BAB0000173

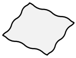
USB クレードル
VSK0671


ハンドストラップ
VFC4088

USB 接続ケーブル
K2KZ4CB00008

キャリングケース
VFC4079

CD-ROM

クリーニングクロス
VFC1792


別売アクセサリー

- バッテリーパック /VW-VBA05
- ソフトケース /RP-SB010-W
- ストラップ /RP-WA7-W
- ホームフォトプリンター /SV-AP30

別売アクセサリーは販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense

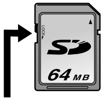
パナセンスカスタマーセンター
TEL 06-6907-9144
http://www.sense.panasonic.co.jp/

使用するカードについて

- 本機で使用できるカードは SD メモリーカードです。（マルチメディアカードは使用できません）
- SD メモリーカードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

■ SD メモリーカード（別売）について

- SD メモリーカードは、小型・軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。また、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。（スイッチを LOCK 側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）



書き込み禁止スイッチ

- SD メモリーカードに記録した画像は、当社製 SD メモリーカードスロット搭載 DVD ビデオレコーダー（ディーガ）やテレビ（ビエラ）などで再生できます。（ファイルによっては、再生できない場合があります）
- DVD ビデオレコーダー（ディーガ）で記録した MPEG4 動画（ASF 形式）を本機で再生できます。

- 本機で記録した[MPEG4]ファイル（ASF形式）を当社製MPEG4動画再生機器で再生できない場合があります。この場合、CD-ROM（付属）内の SD Viewer 3.2J for D-snap をインストールし、[MPEG4 変換ツール] を使ってファイルを変換すると、再生できるようになる場合があります。
- 機種により対応している記録方法（ファイル形式）は異なります。対応機種、記録方法などについて、詳しくはカタログ・ホームページ・各機器の説明書などでよくご確認ください。

パナソニックホームページ：http://panasonic.jp

使う前に

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

- 大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影または録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

- 本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気を付けください

- あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

■ カード内のファイルについて

- 他機で記録、作成したファイルやパソコンで編集されたファイルは本機で再生できない場合があります。
- 本機で記録、作成したファイルは他機で再生できない場合がありますので、あらかじめ確かめてください。
- 電気ノイズ、静電気、本機やカードの故障などにより、カードのデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはパソコン（P70）などにも保存してください。

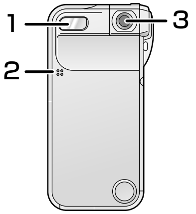
■ 本書内の説明について

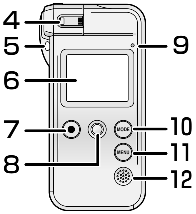
- 本書では SD メモリーカードを「カード」と記載します。
- 本書ではバッテリーパックを「バッテリー」と記載します。
- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。
また本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

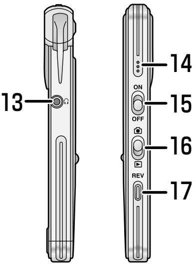
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は MPEG-4 特許プールライセンスに関し、以下の行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。(i) 画像情報を MPEG-4 ビデオ規格に準拠して（「MPEG-4 ビデオ」）エンコードすること。(ii) 個人使用として記録された MPEG-4 ビデオおよび / またはライセンスを受けているプロバイダーから入手した MPEG-4 ビデオを再生すること。
  詳細については http://www.mpegla.com をご参照ください。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。
- SD ロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 音楽認識技術と音楽関連データは Gracenote によって提供されています。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。“Gracenote”、“CDDB”、“Powered by Gracenote”ロゴおよびロゴ表記は Gracenote の商標です。
- WMA（Windows Media Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。
- 本機はマルチプル・ビットレート（ひとつのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）の再生には対応していません。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ®、TM マークは一部明記していません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名前







■ 本体

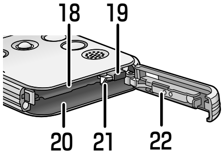
1 フラッシュ発光部
2 セルフタイマーランプ（P33）
3 レンズ（P31）
4 マクロ切換えスイッチ［◄MACRO］（P30）
5 ストラップ取付部
6 液晶モニター（P94）
7 シャッターボタン［●］（P24）
8 ジョグボール（P16）
- メニューの設定、ファイルの再生、ズーム、音量調整などに使用します。
- 電源を入れたとき、モード切り換え時、メニュー操作時などに赤（撮影モード）や緑（再生モード）に点滅（点灯）します。

9 電源 / 充電 / カードアクセスランプ（P14）
10 モードボタン［MODE］（P15）
- ［ボイスメモ］、［オーディオ］再生時は誤操作防止（P57）に使用します。

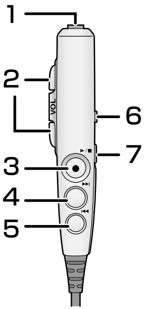
11 メニューボタン［MENU］（P16）
- ショートカットメニュー（P21）の表示にも使用します。

12 ブザー
- 操作音が出ます。

13 リモコン端子［🎧］
14 マイク（P25）
15 電源スイッチ（P14）
16 撮影 / 再生切換えスイッチ［📷 / ▶］（P15、23、38）
17 反転切換えボタン［REV］（P31）

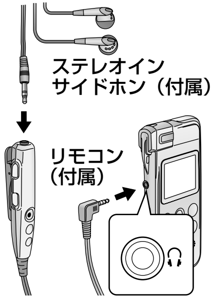


18 カード挿入口（P11）
19 USB クレードル用コネクター（P12）
20 バッテリー挿入口（P11）
21 バッテリーロックつまみ（P11）
22 カード / バッテリー扉（P10）



■ リモコン(P24､56)

1 ステレオインサイドホン端子
2 ボリュームボタン［− VOL ＋］
3 再生 / 停止ボタン［▶/ ■］
シャッターボタン［●］
4 早送りボタン［▶▶|］
5 早戻しボタン［|◀◀］
6 ホールドスイッチ［▶HOLD］
- リモコンのボタンをロックします。
7 イコライザーボタン［EQ］

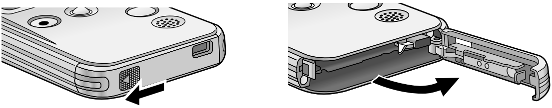


■ ステレオインサイドホン(P55)

- 必ずリモコン（付属）につないでご使用ください。
- ステレオインサイドホン（付属）以外のイヤホンをご使用の場合は、長さが約２ m以内(リモコンと合わせて約３ m以内）のものをご使用ください。

バッテリーやカードを入れる / 取り出す

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

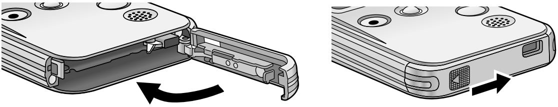


矢印の方向にスライドさせてから、開ける

1　本機の底部にあるカード / バッテリー扉を開ける

2　バッテリーやカードを入れる / 取り出す

- 右ページをよく読んで行ってください。



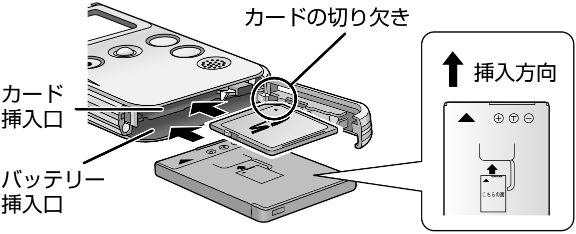
閉じてから、スライドさせてロックする

3　カード / バッテリー扉を閉じる

こちらもお読みください

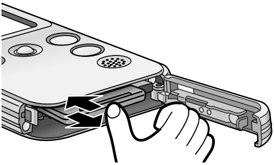
- カードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中（P14）はカード / バッテリー扉を開けないでください。
- カード / バッテリー扉が完全に閉じない場合は、カードまたはバッテリーを一度取り出してから、再度入れ直してください。
- 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。
- 付属のバッテリーは、本機以外には使わないでください。

■ カード / バッテリーを入れるとき

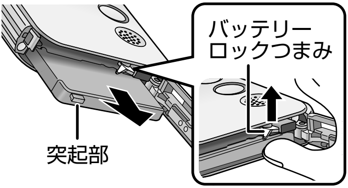


- 必ず入れる向きを確認してください。
- カード / バッテリーは奥までしっかりと入れてください。
  （カードは奥まで入れると「カチッ」と音がします）
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。

■ カード / バッテリーを取り出すとき



カードは「カチッ」と音がするまで押し、引っ張って取り出す

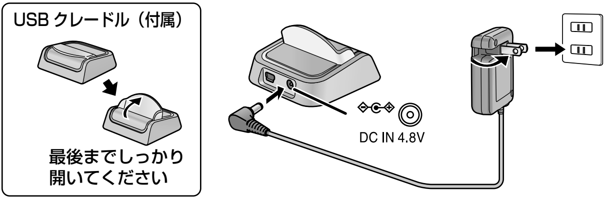


バッテリーは、バッテリーロックつまみを持ち上げながら挿入口を下にして取り出す

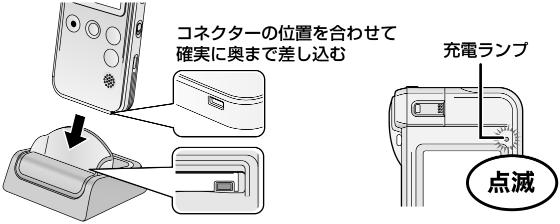
- バッテリーを取り出せないときは、バッテリーの突起部を引っ張って取り出してください。

バッテリーを充電する

必ず本機の電源を切ってから行ってください。
（電源スイッチが［ON］のときは充電できません）
AC アダプターは本機に付属のものをお使いください。



1 AC アダプターの電源プラグを電源コンセントに、DC プラグを USB クレードルにつなぐ



2 向きを確認して、本機を USB クレードルに差し込む

- 充電ランプが点滅し、充電が始まります。
- 充電が完了（約 90 分で満充電）すると、充電ランプが消灯します。

満充電までの時間	約 90 分

- 充電完了後は、本機を USB クレードルからまっすぐ引き抜いてください。

■ 撮影可能枚数・時間について（バッテリー１本あたり）

撮影可能枚数	[写真]	約 140 枚　（CIPA 規格による）	
連続記録時間	[MPEG4]	約 70 分	
連続再生時間	[MPEG4]	約 160 分	付属のステレオインサイドホン使用時
	[オーディオ]	約 18 時間	

- 温度 23 ℃ / 湿度 50%で使用した場合
- 付属のバッテリー、別売の SD メモリーカード（256 MB）RP-SDH256N1A を使用
- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

● 撮影時間（枚数）/ 再生時間は、条件によって多少変わります。
● 別売のバッテリーパック VW-VBA05 も使用できます。

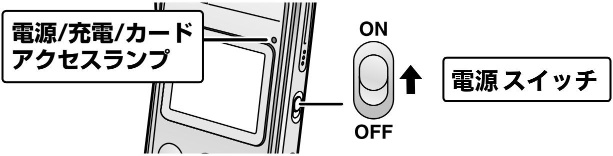
■ 充電する環境ついて

● 充電は周囲の温度が 10 ～ 35 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
● 正常充電時、充電ランプの点滅間隔は約 2 秒（約 1 秒点灯、約 1 秒消灯）です。点滅速度が速いときは異常が起こっていると考えられます。このときは 88 ページをご覧ください。

こちらもお読みください

● 充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中にもバッテリーや本機が温かくなりますが、異常ではありません。
● 使用しないときは、本機を USB クレードルから外し、AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。
● USB クレードル、AC アダプターは海外でも使用できます。（P92）

電源を入れる



1 電源スイッチを［ON］にする

- ［OFF］にすると電源が切れます。

■ 電源 / 充電 / カードアクセスランプについて

点灯	電源が入っています。（電源を切ると消灯します）
点滅	カードにアクセスしています。 （認識 / 記録 / 読み出し / 削除など）

- 点滅中は電源を切ったり、バッテリーやカードの取り出しを行わないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クレードルに差し込んで充電しているとき（P12）にも点滅します。

■ バッテリーの残量表示について

● 電源を入れると液晶モニター（P94）に表示されます。

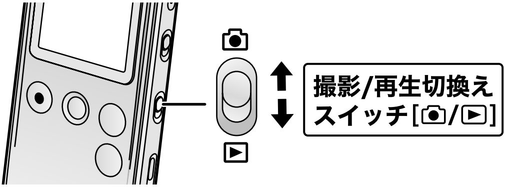
● バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 → → （点滅表示）と変わります。 （点滅表示）のときは、数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。

● モードによって残量表示が増減することがありますので、モードを切り換えるたびに確かめてください。

こちらもお読みください

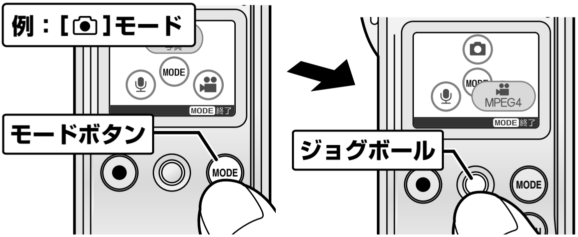
● バッテリーが過放電の状態では、本機にバッテリーを入れていても［バッテリーを入れてください］と表示されたり、パソコンと USB 接続できないことがあります。使用する前にバッテリーを充電しておいてください。

モードを切り換える



1　撮影 / 再生切換えスイッチを切り換える

- [ ]：撮影するとき
- [ ]：カードに記録されているファイルを再生するとき



2　モードボタンをポンと押す

- モード選択画面になります。（本機にカードが入っていない場合は、デモモード（P91）になります）

3　ジョグボールを転がしてモードを選ぶ

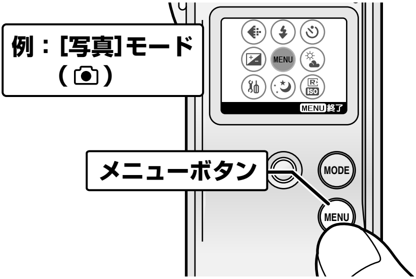
- 選択されたアイコンが変化します。

4　ジョグボールを押して決定する

- 撮影の各モードについては 23 ページ、
再生の各モードについては 38 ページをご覧ください。

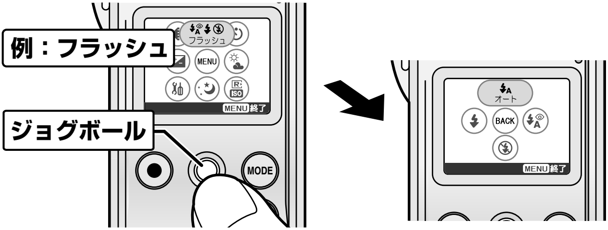
メニューの使いかた

電源を入れてモードを選んでおいてください。（P14 ～ 15）
モードによって設定できる項目は異なります。



1　メニューボタンをポンと押す

- メニュー画面が表示されます。

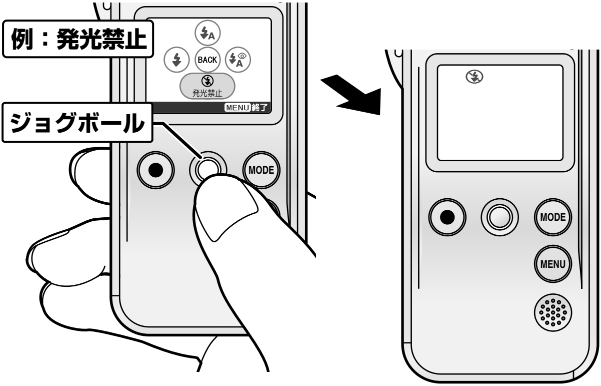


2　ジョグボールを転がしてサブメニューを選ぶ

- 選択されたアイコンが変化します。

3　ジョグボールを押して決定する

- サブメニューの画面が表示されます。



4 ジョグボールを転がして希望の項目を選ぶ

- 選択されたアイコンが変化します。

5 ジョグボールを押して決定する

- 設定が変更され、メニュー画面が消えます。
- さらに選択する項目がある場合は、手順 4 ～ 5 を繰り返してください。

こちらもお読みください

● 操作を中断するには、メニューボタンを押してください。

● 約３０秒間ジョグボールを操作しないと、メニュー画面は自動的に消えます。

● メニューボタンを約 1 秒以上押すと、ショートカットメニューが表示されます。（P21）

セットアップメニューについて

メニューで本機の設定を変更できます。

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

セットアップ	➜	以下の項目を選んで設定してください。

■ 音に関する設定

ボリューム ➜

操作音 ON	操作音を出します。
操作音 OFF	操作音を消します。
主音量	ステレオインサイドホンの音量を調整します。（P40）

■ ジョグボールに関する設定

感度調整 ➜

標準	通常の設定です。
速い	速く反応します。
遅い	ゆっくり反応します。

● 再生モードでの画像の選択、サムネイル・リストなどの移動の速さは変化しません。

■ USB 接続に関する設定

USB 接続 ➜

PC 接続	パソコンと接続します。（P66）
ピクトブリッジ	プリンターと接続します。（P49）

■ 液晶モニターに関する設定

モニタ →	アイコン表示	アイコンの表示［ON］/ 非表示［OFF］を選びます。
	明るさ	明るさを調整します。

■ 電源に関する設定

オートパワーオフ →	5 分後オフ	操作なしで約 5 分経過すると、自動的に電源が切れます。
	キャンセル	バッテリーが消耗するまで、電源は切れません。

- 自動的に電源が切れた場合、再度電源を入れるには、電源スイッチを一度［OFF］にしてから［ON］に戻してください。
- USB 接続モード時、MPEG4 撮影 / 再生時、スライドショー中、ボイスメモ記録 / 再生時、音楽再生時は、［オートパワーオフ］は働きません。

■ 時計に関する設定

時計設定	日付と時刻を設定します。(P20)

■ カードをフォーマット(初期化)する

フォーマット	カードをフォーマットすると、すべてのデータ（ロックされたファイルを含む）は削除され、元に戻すことができません。よく確かめてからフォーマットしてください。

■ 各種設定を元に戻す

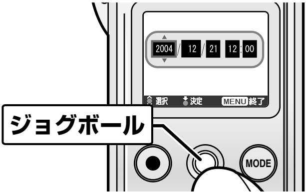
設定リセット	時計以外の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

時計を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。最初に電源を入れたときに表示される時計設定の画面で設定してください。（設定せずに使うと、2000年1月1日0時00分になります）

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

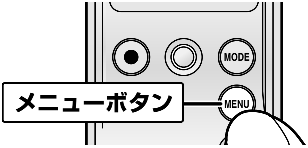
セットアップ ➜ 時計設定



2 ジョグボールを使って年月日と時刻を合わせる

押すたびに、合わせる項目（年・月・日・時・分）が移動します。
上下に転がすと数字が変化します。
（[年]は2000年から2099年まで設定できます）

- 時刻は24時間表示です。



3 合わせ終わったら、メニューボタンを押す

- 設定の画面が消えます。

こちらもお読みください

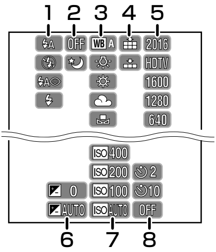
● **満充電されたバッテリーを本機に約 1 時間入れておくと、バッテリーを取り出したあとも約 10 時間は時計設定を記憶しています。**（バッテリーを入れていた時間によって変わりますが、記憶時間は最大で約 3 カ月です。また、十分に充電されていないバッテリーを入れた場合、記憶時間は短くなることがあります）それ以上経過すると時計設定は消えますので、もう一度合わせ直してください。

ショートカットメニューについて

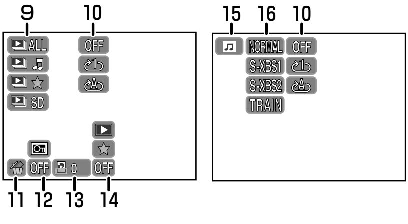
1　メニューボタンを約 1 秒以上押し、ジョグボールで設定する

- ジョグボールを上下左右に転がして設定を選択し、押して決定してください。
- メニューボタンを押すと、ショートカットメニューを終了します。

<撮影モード>



<再生モード>



1　フラッシュ（P32）
2　ナイトモード（P35）
3　ホワイトバランス（P34）
4　画質（P28）
5　画像サイズ（P28）
6　露出補正（P36）
7　ISO 感度（P37）
8　セルフタイマー（P33）
9　スライドショー（P48）
10　リピート再生（P41、58）
11　ファイル削除（P42）
12　ロック設定（P43）
13　DPOF プリント設定（P52）
14　マーク設定（P45）
15　プレイリスト（P58）
16　音質（P57）

記録する前に

■ 上手に撮る姿勢

- わきをしめる。
- 右手で固定し、左手を添える。
- カメラのシャッタースピードは自動で調整されます。日陰や室内などの暗い場所ではシャッタースピードが遅くなりますので、手ぶれに気を付け、シャッターボタンは静かに押してください。また、動きの速い被写体を撮影すると、ぶれや残像が生じる場合があります。

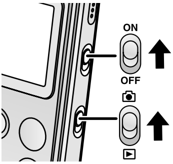
- セルフタイマー機能やリモコンを使って撮影すると、手ぶれを軽減することができます。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合、正常に記録されないことがありますので、一度本機でフォーマットしてください。

記録する

ピントが合う距離は、被写体から約 60 cm 以上です。
近くにあるものを撮影するときは、マクロ撮影（P30）をしてください。

■ 記録するモードを選ぶ

1

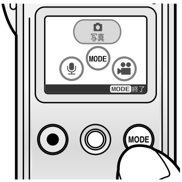


電源スイッチを［ON］にする

- 電源ランプが赤色に点灯します。

撮影 / 再生切換えスイッチを撮影モード［📷］にする

2



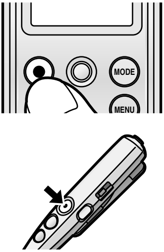
モードボタンを押し、ジョグボールで記録するモードを選ぶ

- 下の表をご覧になり、モードを選んでください。

記録モード	こんなときにおすすめ	音声
写真（静止画記録）	気軽にスナップ写真を撮りたい！	記録されません
MPEG4（動画記録）	気軽に動画を楽しみたい！	本機のマイクから記録されます
ボイスメモ（音声記録）	語学学習やスピーチの練習をしたい！	

■ [写真]を選んだとき

1

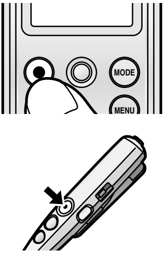


シャッターボタンをポンと押して撮影する

- リモコンのシャッターボタンを使うこともできます。
- 撮影終了後に、記録した画像を数秒間再生します。

■ [MPEG4]、[ボイスメモ]を選んだとき

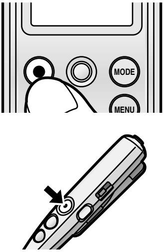
1



シャッターボタンをポンと押して記録を開始する

- 記録中は［●］が表示されます。
- リモコンのシャッターボタンを使うこともできます。

2

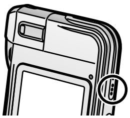


シャッターボタンをポンと押して記録を終了する

- 記録停止中は［□］が表示されます。
- 記録中にカードのメモリーがいっぱいになると自動的に記録が終了します。

こちらもお読みください

● 記録中はマイクを指などでふさがないでください。また、記録中にジョグボールなどに触れると、ノイズが記録される場合がありますのでお気を付けください。



■ [写真] 撮影時は・・・

- メニューの設定で [詳細設定] → [番号リセット] を選ぶと、カードに記録する際のファイル番号を 0001 に戻すことができます。(フォルダー番号は +1 されます)

■ [MPEG4] 撮影時は・・・

- 残り時間が 1 分未満になると、R 0h00m が赤色に表示されます。
- フラッシュ、ナイトモード、セルフタイマーは使えません。
- ISO 感度の調整はできません。
- 記録される音声はモノラルです。
- 書き込み速度が遅いカードを使うと、MPEG4 の記録が途中で停止する場合があります。(当社製のカードをお使いいただくことをおすすめします)
- 記録の前または終了時、周囲の明るさによってはレンズ部から「カチッ」と音がしたり、画面の明るさが変化する場合がありますが故障ではありません。

■ [ボイスメモ] 記録時は・・・

- 記録開始から約 10 秒後に液晶モニターが消灯します。メニューボタンを押すと再点灯します。(記録の終了時にも再点灯します)
- 記録される音声はモノラルです。
- 記録されるファイルは自動的にロック (P43) されます。

カードへの記録枚数・記録時間のめやす

カードの容量	写真（単位：枚）				
	2016 × 1512	HDTV (1920 × 1080)	1600 × 1200	1280 × 960	640 × 480
8 MB	約 5 (約 11)	約 8 (約 17)	約 7 (約 17)	約 13 (約 27)	約 33 (約 68)
16 MB	約 13 (約 26)	約 20 (約 40)	約 19 (約 40)	約 31 (約 64)	約 77 (約 150)
32 MB	約 29 (約 58)	約 44 (約 87)	約 42 (約 87)	約 68 (約 130)	約 160 (約 330)
64 MB	約 61 (約 120)	約 92 (約 180)	約 89 (約 180)	約 140 (約 280)	約 340 (約 690)
128 MB	約 120 (約 240)	約 180 (約 360)	約 180 (約 360)	約 290 (約 580)	約 700 (約 1400)
256 MB	約 240 (約 480)	約 360 (約 720)	約 350 (約 720)	約 560 (約 1100)	約 1300 (約 2700)
512 MB	約 490 (約 960)	約 730 (約 1400)	約 710 (約 1400)	約 1100 (約 2200)	約 2700 (約 5400)
1 GB	約 980 (約 1900)	約 1400 (約 2800)	約 1400 (約 2800)	約 2200 (約 4500)	約 5400 (約 10000)

カードの容量	ボイスメモ
8 MB	約 25 分
16 MB	約 58 分
32 MB	約 2 時間
64 MB	約 4 時間
128 MB	約 8 時間 30 分
256 MB	約 16 時間
512 MB	約 33 時間
1 GB	約 66 時間

カードの容量	MPEG4				
	XF（エクストラファイン）	SF（スーパーファイン）	F（ファイン）	N（ノーマル）	E（エコノミー）
16 MB	約 1 分	約 2 分	約 5 分	約 7 分	約 18 分
32 MB	約 3 分	約 4 分	約 11 分	約 16 分	約 38 分
64 MB	約 7 分	約 9 分	約 23 分	約 34 分	約 1 時間 10 分
128 MB	約 14 分	約 18 分	約 47 分	約 1 時間 10 分	約 2 時間 40 分
256 MB	約 28 分	約 36 分	約 1 時間 30 分	約 2 時間 10 分	約 5 時間 10 分
512 MB	約 55 分	約 1 時間 10 分	約 3 時間	約 4 時間 30 分	約 10 時間
1 GB	約 1 時間 50 分	約 2 時間 20 分	約 6 時間	約 9 時間	約 20 時間

こちらもお読みください

- ［写真］は画質が［ファイン］の場合の枚数です。
  （　）内は［ノーマル］の場合の枚数です。
- 撮影される被写体によって記録枚数・記録時間は変動します。
  （［MPEG4］の場合、条件によっては倍程度になる場合があります）
- ［写真］ファイルの残り撮影可能枚数は、10000 枚以上であっても、［9999］と表示されます。
- 液晶モニターに表示される残り枚数・時間はめやすです。画質やサイズが混在している場合や、1 枚のカードに［写真］、［MPEG4］、［ボイスメモ］が混在している場合などは、記録枚数・記録時間は変動します。
- ひとつのファイルとして連続して記録できる時間は、［MPEG4］で約 10 時間、［ボイスメモ］で約 24 時間までです。（電源に AC アダプターを使用して、512 MB または 1 GB のカードに記録した場合）

画像サイズと画質を変える

1 メニューボタンを押し、
ジョグボールで設定する（P16）

■ [写真]の画像サイズ・画質

画質 →

2016	2016 × 1512
HDTV	HDTV
1600	1600 × 1200
1280	1280 × 960
640	640 × 480

→

ファイン	画質を優先 高画質
ノーマル	記録枚数を優先 標準画質

■ [MPEG4]の画像サイズ・画質

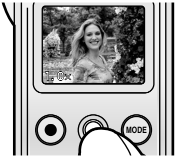
画質 →

XF	XF	（エクストラファイン）	320 × 240 毎秒最大 30 フレーム
SF	SF	（スーパーファイン）	320 × 240 毎秒最大 15 フレーム
F	F	（ファイン）	320 × 240 毎秒最大 10 フレーム
N	N	（ノーマル）	176 × 144 毎秒最大 10 フレーム
E	E	（エコノミー）	176 × 144 毎秒最大 6 フレーム

こちらもお読みください

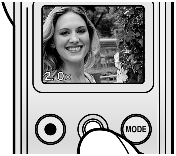
- ［HDTV］（画像サイズ：1920 × 1080）を選ぶと、ハイビジョンテレビと同じ縦横比 16：9 の画像を記録します。
- 画像サイズ（［640 × 480］などの数値）が大きいほどファイルのサイズは大きくなります。
- ［写真］は画像サイズが大きいほど、より鮮明にプリントできます。
- ファイルのサイズが大きいと、カードへの取り込み時間が長くなります。
- ファイルのサイズを小さくしておくと、1 枚のメモリーカードにより多く記録できます。また、電子メールに添付したり、ホームページに利用するときに便利です。
- ［写真］の［画質］を［ノーマル］にすると、被写体によっては撮影した映像がモザイク状になります。
- ［MPEG4］の［画質］を［N］または［E］にすると、撮影した映像の画質が劣化します。（音質は変わりません）
- 本機で撮影した［MPEG4］ファイルは、当社製 SD マルチカメラ SV-AS10 では再生できません。
- ［XF］で撮影した［MPEG4］ファイルは、
  - 本機以外で正常に再生できない場合があります。
  - MPEG4 動画再生機能のある当社製 DVD ビデオレコーダー、デジタルビデオカメラ、テレビなどで認識できない場合があります。
  - Macintosh パソコンでは再生できません。

画像を拡大する（デジタルズーム）

1 

ジョグボールを押す

- ズーム倍率が表示されます。

2 

ジョグボールを上下に転がして倍率を設定する

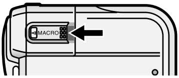
- 最大 4 倍まで拡大できます。
- ジョグボールを押すと、1 倍に戻ります。

こちらもお読みください

● 拡大するほど画質は劣化します。
●［MPEG4］の撮影中は、画像の拡大はできません。

近くにあるものにピントを合わせる（マクロ撮影）

レンズから約 10 cm の距離にある被写体にピントを合わせて撮影できます。

1 

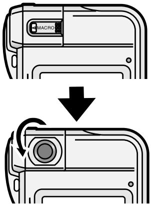
マクロ切換えスイッチを左にスライドさせる

こちらもお読みください

● 同じ写真を複数枚撮影しておき、その中からピントの合ったものを選んでいただくことをおすすめします。
● マクロ撮影をしないときは、マクロ切換えスイッチを右に戻しておいてください。

画像を反転する（自分撮り）

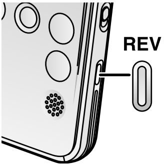
1



レンズを回転させる

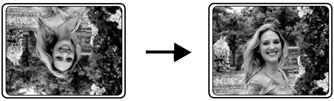
- レンズに触れないようにお気を付けください。

2

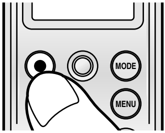


反転切換えボタンを押す

- 画面の映像が上下反転し、鏡に映したような映像になります。



3



シャッターボタンを押して撮影する

- ［MPEG4］の撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを押してください。

こちらもお読みください

- ピントが合う距離は、レンズ前面から約 60 cm 以上です。
- 実際に撮影される画像は、液晶モニターで見る映像とは左右反対になります。
- 反転切換えボタンを押さずに撮影すると上下逆に撮影されます。
- ［MPEG4］の撮影中・再生中は、画像の反転はできません。
- レンズを回転させると、フラッシュは使えません。
- 再生モード時は、画像を 180° 回転して再生することができます。

フラッシュを設定する

フラッシュが届く範囲は、約 80 cm ～ 120 cm です。
設定の前にレンズを正面に向けてください。正面に向いていないときは、フラッシュは発光しません。

1 メニューボタンを押し、
ジョグボールで設定する（P16）

フラッシュ	➜	オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
		赤目軽減	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが予備発光し、人の目が赤く写る（赤目現象）のをおさえます。
			暗い場所で人物を撮るときなどにお使いください。
		発光禁止	暗い場所でもフラッシュが発光しません。
			フラッシュ禁止の場所での撮影などにお使いください。
		強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
			逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどにお使いください。

■ フラッシュが発光しない・・・

- 以下の場合、フラッシュは発光しません。
  - レンズを回転させたとき（画面に［ ］が表示されます）
  - 明るい場所で、[オート] または [赤目軽減] に設定しているとき
  - ［MPEG4］撮影時

こちらもお読みください

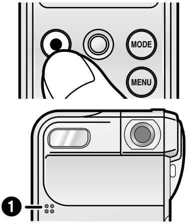
- フラッシュを使わずに撮影するときは、ISO 感度（P37）を設定して明るさを調整してください。
- 近くで撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合があります。
- フラッシュマークが赤色になり点滅している間（フラッシュ充電中）は、シャッターボタンを押しても撮影できません。
- フラッシュの発光時に物を近付けると熱や光で変形、変色する場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

セルフタイマ	設定	説明
→	10s 2s 10 秒 2 秒	シャッターボタンを押してから実際に撮影するまでの時間を選びます。
→	OFF OFF	セルフタイマーを使いません。

2 シャッターボタンを押して撮影する



- セルフタイマー動作中（セルフタイマーランプ ❶ が点滅）にメニューボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

こちらもお読みください

- セルフタイマーは、撮影するたびに毎回設定してください。
- USB クレードルに立てて使うと、離れて撮影する場合に便利です。
- [2 秒] に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。
- [MPEG4]、[ボイスメモ] 記録時は使えません。

自然な色合いに調整する（ホワイトバランス）

太陽光や白熱灯下など白色が赤みがかったり青みがかったりする場面を見た目に近い白色に調整します。

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

ホワイトバランス ➜	オート	自動で自然な色合いに撮ることができます。
	白熱灯	白熱灯下で撮影するとき
	晴天	屋外晴天下で撮影するとき
	くもり	曇天や日陰で撮影するとき
	セットモード	手動で設定するとき

■ セットモードでの設定

手順 1 で［セットモード］に設定したあと・・・

2

白い紙などに本機を向けて、画面全体が白くなるようにし、ジョグボールを押す

- ホワイトバランスが設定されます。
- 画面の表示が変わるまで、本機を動かさないでください。

こちらもお読みください

● 暗いところなど、場面の状態や光源によってはホワイトバランスが正しく合わない場合があります。
● 以下のようなシーンでは、[セットモード] で調整すると効果的です。
  - 赤っぽい光源（ハロゲンランプ・ナトリウムランプなど）での撮影
  - 複数の光源での撮影
  - 単調な色彩のシーンの撮影
● [セットモード] は極端に明るい場所や暗い場所では設定できない場合があります。他のモードに設定してください。
● **ホワイトバランスの設定は、他の撮影モードにも反映されます。また、電源を切っても保持されます。異なる撮影条件で電源を入れ直したときは、再度設定してください。**

暗い場所で撮る（ナイトモード）

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

ナイトモード ➜

ON	被写体をカラーで明るく撮ることができます。
OFF	ナイトモードを解除します。

こちらもお読みください

● フラッシュを使うと、夜景を背景に人物を撮影することができます。
● 明るいところから暗いところへカメラを向けると、画面が明るくなるまでに時間がかかります。
● ［MPEG4］撮影時は使えません。

露出を補正する

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

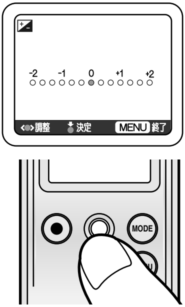
1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

露出補正	→	EV オート	自動的に露出を決定します。
		EV シフト	手動で調整します。

■ 手動での調整

手順 1 で［EV シフト］に設定したあと・・・

2



ジョグボールを左右に転がして調整し、

- －２EV ～＋２EV の範囲で 1/3 刻みで補正できます。
- ＋側に補正すると明るめに、－側に補正すると暗めに映ります。

押して決定する

こちらもお読みください

● 露出を補正したとき、液晶モニターの明るさと実際に撮影された画像の明るさは異なる場合があります。再生画像で確認してください。

● EV とは Exposure Value の略で、露出量を表す単位です。

ISO 感度を設定する

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したものです。
フラッシュを使用できない場所での撮影に便利です。

1　メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

詳細設定 ➜ ISO 感度 ➜

オート	明るさに応じて自動的に ISO 感度を調整します。
100/200/400	数値が大きいほど、暗い場所での撮影に適しています。

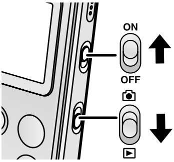
こちらもお読みください

- ISO 感度を高くして撮影すると、画面にノイズが増えて画質が劣化します。
- ISO 感度を高くしても画像が暗いときは、［ISO 感度］を［オート］に設定し、フラッシュをお使いください。（フラッシュが届く範囲は、約 80 cm ～ 120 cm です）
- ［MPEG4］撮影時は使えません。

再生する

■ 再生するモードを選ぶ

1

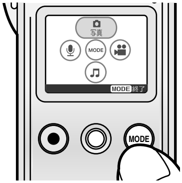


電源スイッチを［ON］にする

- 電源ランプが赤色に点灯します。

撮影 / 再生切換えスイッチを再生モード［▶］にする

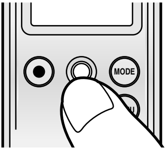
2



モードボタンを押し、ジョグボールで再生するモードを選ぶ

- 下の表をご覧になり、
  モードを選んでください。

再生モード	再生できるファイル	音声
写真（静止画再生）	本機で記録した［写真］ファイル、または静止画（JPEG 形式）ファイル	再生されません。
MPEG4（動画再生）	本機で記録した［MPEG4］ファイル、または動画（ASF 形式）ファイル	ステレオインサイドホン（付属）から再生されます。（本機からは再生されません）
ボイスメモ（音声再生）	本機で記録した［ボイスメモ］ファイル	
オーディオ（音楽再生）	SD-Jukebox でカードに記録した音楽ファイル	音楽再生については54 ページをご覧ください。

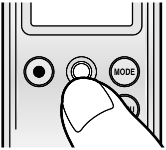
3 

ジョグボールを左右に転がして再生するファイルを選ぶ

- 右へ転がすと次のファイルへ
- 左へ転がすと前のファイルへ

■ [MPEG4]、[ボイスメモ]を選んだとき

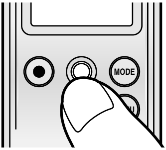
手順 3 でファイルを選んだあと・・・

4 

ジョグボールを押して再生を始める

- 再生中は［▶］が表示されます。
- ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。

- リモコンを使うと早送り・早戻しできます。
（早送り（早戻し）ボタンを押し続けると早送り（早戻し）、ポンと押すと次（再生中）のファイルの先頭に移動します）

5 

ジョグボールを押して再生を一時停止する

- 再生停止中は［□］が表示されます。
- 再生を途中で停止した場合、次の再生時はその続きから始まります。（レジューム再生）

こちらもお読みください

- 静止画を再生するときに、一瞬［ ］アイコンが表示され画像の解像度がやや低くなりますが、そのあと、通常の画像が再生されます。
- レジューム再生開始時は、少し前の画像から再生されます。
- JPEG 形式、または ASF 形式（MPEG4）のファイルでも、本機で再生できないものがあります。
- ［ボイスメモ］ファイルは当社製 IC レコーダーでは再生できません。

● 当社製 SD マルチカメラ SV-AS10 で記録した動画、音声ファイルは本機で再生できません。
● 他機で記録されたファイルを再生すると、以下のような状態になる場合があります。
  - 再生できない / レジューム再生できない / 再生画質が劣化する
    ファイルサイズが表示されない / 日付表示が作成日時と異なる
● パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると、再生できない場合があります。
● [MPEG4] ファイルの再生中、日時表示は止まったままになります。

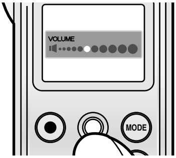
■ [ボイスメモ]再生時は・・・

- 再生を開始してから約 10 秒間本機を操作をしないと、液晶モニターが消灯し、電力の消費を抑えます。（再生中はカードアクセスランプが点滅します）消灯した液晶モニターを点灯したい場合は、本体のメニューボタンを押してください。
- モードボタンを約 2 秒以上押すと、本機の誤動作を防げます。(P57)
- ［ボイスメモ］ファイルの早送り（早戻し）は、開始から 6 秒間は 10 倍速、それ以降は 60 倍速になります。

再生中に音量を調整する

1 再生中にメニューボタンをポンと押す

2 ジョグボールを左右に転がして調整する



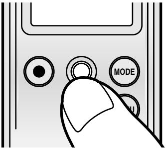
- 音量調整後、しばらく何も操作しないと、自動的に音量調整画面は消えます。

こちらもお読みください

● 再生中の音声を聞くときは、リモコンとステレオインサイドホン（付属）をつないでください。（本機からは聞こえません）(P9)
● 一時停止中はメニューで音量を調整できます。(P18)
● リモコンでも音量を調整できます。(P9)

ファイルを6枚表示する（サムネイル表示）

1



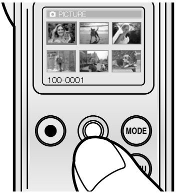
再生の停止中にジョグボールを下に転がす

- ［ボイスメモ］モードのときは、サムネイル画像のない、ファイルのリストが表示されます。

■ ファイルを選んで 1 枚を再生する

手順 1 で 6 枚表示にしたあと・・・

2



ジョグボールを転がして、ファイルを選び、

- 7 ファイル以上ある場合は、次のページに表示されます。

ジョグボールを押す

- 選んだファイルの再生が始まります。

動画を繰り返し再生する（リピート再生）

1 ［MPEG4］モードにする（P38）

---

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

リピート	→	OFF	リピート	最後のファイルの再生が終わると停止します。
		1	1 リピート	1 つのファイルを繰り返して再生します。
		ALL	全リピート	すべてのファイルを繰り返して再生します。

● 再生

ファイルを削除する

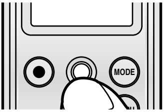
ファイルは一度削除すると元に戻すことができません。
よく確かめてから削除してください。

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

ファイル削除 ➜

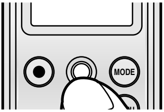
選択削除	1 ファイルずつ削除します。
全削除	再生しているモードのすべてのファイルを削除します。

2



削除するファイルを選び、ジョグボールを押す（[選択設定］選択時のみ）

3



確認画面で［はい］を選び、ジョグボールを押す

- メニューボタンを押すと終了します。

こちらもお読みください

- ロックされたファイル（右ページ）、音楽ファイル、DCF 規格外のファイルは本機では削除できません。
- ［ボイスメモ］ファイルは本機で削除してください。
- 他機で設定した DPOF 情報が削除される場合があります。
- 本機で再生できない画像ファイル（JPEG 以外）でも削除される場合があります。
- 削除中は、電源を切ったりカードを取り出さないでください。
- 一度に削除するファイルの数が多いと時間がかかります。
十分残量のあるバッテリーをお使いください。

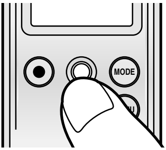
ファイルの誤消去を防止する（ロック設定）

大切なファイルを誤って削除や変更できないようにします。

1　メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

ロック設定 ➜ 選択設定

2



**ロックするファイルを選び、
ジョグボールを押す**

- 液晶モニター下部に［ ］が表示されます。
- もう一度押すと、解除されます。
- メニューボタンを押すと終了します。

■ ロックを解除するときは

手順 2 で、ロックされているファイルを選んでジョグボールを押してください。

■ すべてのファイルのロックを解除するときは

手順 1 で［リセット］、確認画面で［はい］を選んでジョグボールを押すと、再生しているモードのすべてのファイルがロック解除されます。

こちらもお読みください

- カードをフォーマットすると、ロックしたファイルも削除されます。
- 本機以外ではロック設定が無効になる場合があります。
- ロックしていなくても、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチ（P5）を LOCK 側にしておくと、ファイルの誤消去を防ぐことができます。
- ［ボイスメモ］ファイルは記録時に自動的にロックされます。
- 一度に設定するファイル数が多いと時間がかかります。
十分残量のあるバッテリーをお使いください。

拡大して見る（ターゲットズーム）

最大 10 倍まで拡大できます。

1 ［写真］モードで画像を選ぶ（P38）

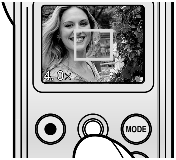
（P38）

2

ジョグボールを上に転がす

- ターゲットズーム枠が表示されます。

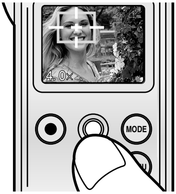
3



ジョグボールを上下に転がして倍率を選び、押す

- 上に転がすたびにズーム倍率は大きくなります。（最大 10 倍まで）

4



ジョグボールを転がしてターゲットズーム枠を拡大したい部分に移動し、押す

- 枠内の画像が拡大して表示されます。
- 拡大後、ジョグボールを押す、または左右に転がすと、ズームを解除します。
- さらに拡大したいときは、手順 2 ～ 4 を繰り返してください。

こちらもお読みください

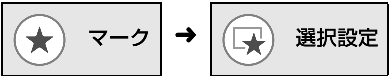
- メニュー画面を開くと、ズームは解除されます。
- 拡大するほど画質は劣化します。
- 他機で記録された画像はズームできない場合があります。

静止画をお気に入りに登録する

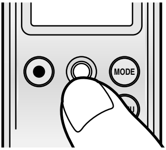
お気に入りに登録した画像だけを表示したり、スライドショーで見たり（P48）できます。

1 ［写真］モードにする（P38）

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）



3 画像を選び、ジョグボールを押す



- 液晶モニターに［★］が表示され、登録されます。
- もう一度押すと、解除されます。
- メニューボタンを押すと終了します。

■ お気に入りのファイルだけを再生するときは

手順２で[マーク再生]を選んでジョグボールを押してください。
- ジョグボールを左右に転がして画像を選択できます。
- メニューボタンを押すと終了します。

■ お気に入り登録を解除するときは

手順 ３ で登録されているファイルを選んでジョグボールを押してください。

■ すべてのファイルのお気に入り登録を解除するときは

手順２で［リセット］、確認画面で［はい］を選んでジョグボールを押すと、すべての画像の登録が解除されます。

こちらもお読みください

● 最大で 999 枚までお気に入りに登録できます。

音楽付きスライドショーを作成する

カード内の音楽ファイルを BGM として付け加えたスライドショーを作成できます。

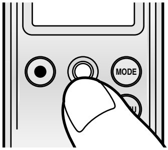
1 ［写真］モードにする（P38）

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

スライドショー ➜ スライドショー作成

- 以前にスライドショーを作成したことがある場合、確認のメッセージが表示されます。［はい］を選ぶと、作成したスライドショーを消去して新しいスライドショーを作成します。
［いいえ］を選ぶと、作成したスライドショーを変更できます。

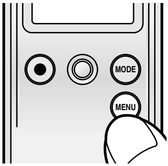
3



ジョグボールを左右に転がして画像を選び、押す

- 選んだ画像には、［♬］が表示されます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 操作を繰り返して他の画像も設定できます。

4



メニューボタンを押す

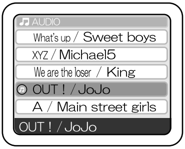
- カードに音楽ファイルがひとつも記録されていないときは、音楽を付けずにスライドショーを作成します。

5

（カードに音楽ファイルがあるとき）確認画面で［はい］または［いいえ］を選び、ジョグボールを押す

- ［いいえ］を選ぶと、音楽を付けずにスライドショーを作成します。

6



（手順 5 で［はい］を選んだとき）スライドショー中に再生する音楽ファイルを選び、ジョグボールを押す

- 音楽付きのスライドショーを作成します。

再生

こちらもお読みください

- BGM として付加できるのは、本機で再生できる音楽ファイルだけです。（P54）
- 最大 36 枚までスライドショーに設定できます。
- 音楽付きスライドショーは再生時の画質が劣化します。

静止画をスライドショーで見る

画像が自動的に順番に再生されます。ストーリー仕立てにするなどしてお楽しみください。

1 ［写真］モードにする（P38）

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

スライドショー ➜ スライドショー再生 ➜

音楽付スライドショー	作成した音楽付きスライドショー（P46）を再生します。
全画像	すべての画像を再生（ファイル番号順）します。
SDスライドショー	付属のソフト SD Viewer で設定されたスライドショーを再生します。
★スライドショー	お気に入り登録（P45）した画像のスライドショーを再生します。

- スライドショーが始まります。
- 途中で止めるときはジョグボールを押してください。

こちらもお読みください

- SD Viewer ではスライドショー再生する画像を設定できます。本機では SD Viewer で設定した再生間隔では再生されません。
- 音楽付きスライドショー中はリモコンのボリュームボタンで音量を調整できます。（音量調整画面は表示されません）
- 音楽付きスライドショーは、再生準備中にオープニング画面が表示され、時間がかかることがありますが、異常ではありません。
- 再生中の音楽を聞くときは、リモコンとステレオインサイドホン（付属）をつないでください。（本機からは聞こえません）（P9）

プリンターに直接つないでプリントする（PictBridge）

USB 接続ケーブル（付属）で本機と接続した PictBridge 対応のプリンターから、本機で再生している静止画をプリントできます。（プリンターの電源を入れておいてください）

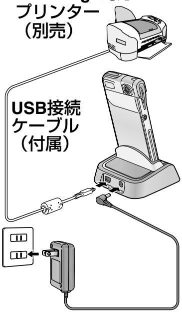
1 ［写真］モードにする（P38）

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

セットアップ ➜ USB接続 ➜ ピクトブリッジ

- 必ず、プリンターと接続する前に設定してください。

3



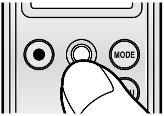
本機をUSBクレードルに奥までしっかり差し込む

- USB クレードルは AC アダプターを使って電源コンセントにつないでおいてください。
- 必ず、充電済みのバッテリーとカードを本機に入れておいてください。

付属の USB 接続ケーブルで USB クレードルとプリンターをつなぐ

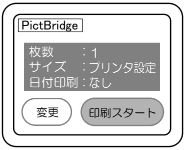
- ［PICTBRIDGE/PTP 接続中です］と表示されます。
- ［PC 接続中です］と表示された場合は、一度 USB 接続ケーブルを抜いて、手順 2 の設定を確認してください。

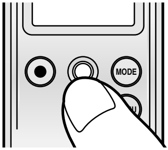
4



画像を選び、ジョグボールを押す

5





設定を確認し、[印刷スタート］を選んでジョグボールを押す

印刷	**印刷スタート**	プリントを開始します。
変更	**設定変更**	プリントの設定を変更します。

- 途中でプリントを中止するときはメニューボタンを押してください。
- 印刷終了時、[プリント終了］と表示されます。

■ プリントの設定を変更する

手順 5 で［設定変更］を選んだ場合、次の表にある 3 つの項目を変更できます。ジョグボールで選んで設定してください。

枚数	サイズ		日付印刷
1 ～ 99 枚	L	はがき	なし
	2L	A4	あり
	プリンタ設定		

- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- ［プリンタ設定］を選ぶと、プリンターに設定されている用紙サイズでプリントされます。
- 設定の途中でメニューボタンを押すと、画像の選択（P49 手順 4）に戻ります。

こちらもお読みください

● 付属の USB 接続ケーブル以外は使用しないでください。

● プリント中またはプリントを途中で中止している間は、USB 接続ケーブルを抜いたり本機を USB クレードルから抜かないでください。

● 他の機器で撮影した画像やパソコンで加工した画像などは、プリントできない場合があります。

● プリンターと接続中に AC アダプターを抜くと、本機のボタンを操作できなくなります。

● 印刷中に次のようなエラーメッセージが表示されたときは、プリンターを確認し（詳しくは、お使いのプリンターの説明書をご覧ください）、印刷を再開するときは［再開］、止めるときは［キャンセル］を選んでください。（再開できないエラーの場合、［キャンセル］のみが表示されます）

表示されるメッセージ	
用紙切れ プリンタを確認してください	**プリンタビジー プリンタを確認してください**
インク切れ プリンタを確認してください	**プリンタエラー プリンタを確認してください**
用紙詰まり プリンタを確認してください	

● 印刷開始前にプリンターのエラーメッセージが表示された場合、プリンターが正常に戻るまで、電源を切る以外の操作はできません。

● 次のような場合にもエラーメッセージが表示されます。よく確認してから接続してください。

表示されるメッセージ	表示される条件
AC アダプタと バッテリ 両方を 使用してください	バッテリーが入っていないとき。 AC アダプターを接続していないとき。 接続中に AC アダプターが抜かれたとき。
再生モードに 設定してください	撮影モードで接続したとき。
カードを入れてください	カードが入っていないとき。
カードを確認してください	マルチメディアカードが入っているとき。
対象となる写真ファイルがありません	カード内に選択可能な画像がないとき。

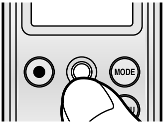
プリントする静止画と枚数を選ぶ（DPOF プリント）

DPOF 対応のシステムで活用できるように、カードの画像にプリント情報などを書き込むことができます。

1 ［写真］モードにする（P38）

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

メニュー		設定	説明
DPOF プリント	→	選択設定	1 ファイルずつ設定します。
		全数設定	すべてのファイルを同じ枚数に設定します。

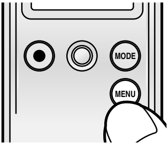
3 

ジョグボールを左右に転がして画像を選ぶ
（［選択設定］選択時のみ）

4

ジョグボールを上下に転がしてプリント枚数を選び、押す

- 1 ～ 99 枚まで設定できます。
- 0 枚にすると、解除できます。
- ［選択設定］選択時に他の画像も設定するときは、手順3～4を繰り返してください。

5 

メニューボタンを押す

- 設定を終了します。

■ DPOF 設定された画像を確認するときは

手順2で[DPOF確認]を選んでジョグボールを押してください。

- ジョグボールを左右に転がして画像を確認できます。
- メニューボタンを押すと終了します。

■ DPOF プリント時に日付を入れるときは

手順 2 で［日付プリント］→［日付プリント ON］を選び、確認画面で［はい］を選んでジョグボールを押してください。

- DPOF 設定されているすべての画像に日付プリントを設定します。（画像ごとに設定することはできません）
- ファイルに日付が記録されていないとプリントされません。
- プリンターによっては、日付が切れたり、表示されない場合があります。

■ DPOF 設定解除するときは

手順 4 でプリント枚数を 0 枚に設定してください。

こちらもお読みください

- DPOF 設定すると、お店でプリント注文するときに画像や枚数の記入が不要になります。SD メモリーカード対応のプリンターで出力するときにもプリンター側で設定が不要なので便利です。
- DCF 規格（P90）に準拠していないファイルは DPOF 設定できません。
- 本機で DPOF 設定すると、他機種で設定された DPOF 情報はすべて解除され、本機の DPOF 設定が上書きされます。
- ［カード残量がありません］というメッセージが表示されたら、不要なファイルを削除してから再度 DPOF 設定してください。
- 一度に設定するファイル数が多いと時間がかかります。
  十分残量のあるバッテリーをお使いください。
- 他機で記録された画像は DPOF 設定できない場合があります。
- DPOF は Digital（デジタル） Print（プリント） Order（オーダー） Format（フォーマット） の略です。

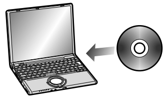
音楽を再生する

音楽を再生する

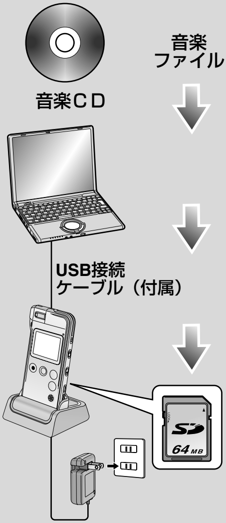
SD-Jukebox でカードに記録したファイルを再生できます。
（ファイルによって再生できない場合があります）

● 本機で再生可能な音楽ファイルの形式

- MPEG2-AAC
- WMA
- MP3



付属の CD-ROM から、SD-Jukebox をパソコンにインストールしてください。



音楽 CD から音楽ファイルをパソコンに記録する

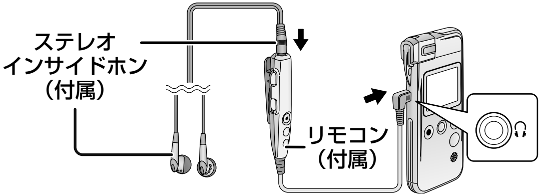
本機をパソコンと接続する※

SD-Jukebox を使って音楽ファイルをカードに記録する

音楽の記録のしかた・プレイリストについて、詳しくは SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

※ 必ず、本機にカードを入れ、パソコンと接続した状態で音楽ファイルを記録してください。パソコンのカードスロットや USB リーダーライターなどを使って記録すると、本機で再生できない場合があります。

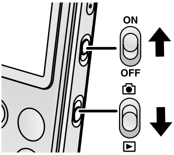
1 本機に音楽ファイルが入ったカードを入れる



2 リモコン、ステレオインサイドホンをつなぐ

- 本機から音楽は聞こえません。

3

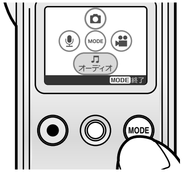


電源スイッチを［ON］にする

- 電源ランプが赤色に点灯します。

撮影 / 再生切換えスイッチを再生モード［▶］にする

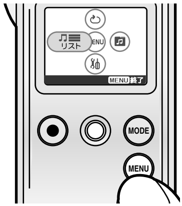
4



モードボタンを押し、

ジョグボールで ♫ ［オーディオ］を選ぶ

5

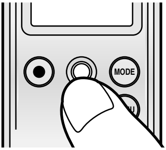


メニューボタンを押し、

ジョグボールで ☰ ［リスト］を選ぶ

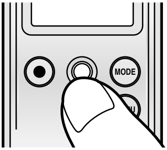
- ［リスト］から曲を選ばなかった場合は、表示中の曲から再生されます。

音楽再生

6 

ジョグボールを上下に転がして曲を選ぶ

7 再生する

	リモコン	本機
		
再生 / 停止	▶/■ を押す	ジョグボールを押す
頭出し	⏮・⏭ を ポンと押す	ジョグボールを 左右に転がす （再生中はできません）
早戻し / 早送り	⏮・⏭ を 押し続ける	—
音量	＋：大きくする －：小さくする	メニューボタンを押してから、ジョグボールを左右に転がす（P40）

- 再生を開始してから約 10 秒間本機を操作をしないと、液晶モニターが消灯し、電力の消費を抑えます。（再生中はカードアクセスランプが点滅します）消灯した液晶モニターを点灯したい場合は、本体のメニューボタンを押してください。
- タイトル・アーティスト名が表示されれない場合があります。

■ 再生する音質を切り換える

リモコンのイコライザー［EQ］ボタンを押してください。

- 押すたびに、以下の順番で切り換わります。

NORMAL（通常）➜ S-XBS1（重低音）➜ S-XBS2（より重低音）➜ TRAIN（音漏れ軽減）

- メニュー画面、6 枚画面の表示中は切り換わりません。

■ 本機の誤操作を防ぐには

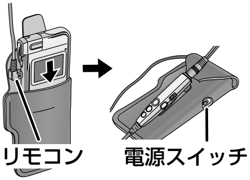
本機のモードボタンを約 2 秒以上押してください。

- 「HOLD」が表示されている間、本体のボタン（電源スイッチと撮影 / 再生切換えスイッチ以外）操作を受け付けません。
- 再度モードボタンを約 2 秒以上押すと解除されます。
- 電源スイッチ、撮影 / 再生切換えスイッチを操作すると解除されます。

■ キャリングケース（付属）に入れて使う

リモコンを本機に付けたまま収納できます。

- 収納した状態でも、電源スイッチを操作できます。
- キャリングケース（付属）には、予備のバッテリーやステレオインサイドホンなどを本機と一緒に入れないでください。

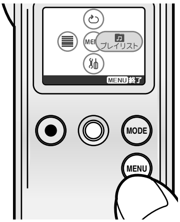


こちらもお読みください

- 本機のみで曲の記録・削除などはできません。
- SD-Jukebox で複数の画像を関連付けしている場合、先頭の 1 枚のみ表示されます。（画像によっては表示できない場合があります）
- 液晶モニターが消灯している間に、画像を関連付けした音楽ファイルの再生が始まった場合、再生中に液晶モニターを再点灯させても関連付けした画像は表示されません。再生を停止すると表示されます。
- カードをフォーマットすると、音楽ファイルを含むカード内の全データ（ファイル）が削除されます。

プレイリストを選ぶ

SD-Jukebox で設定したプレイリストを選んで、再生することができます。

1 

メニューボタンを押し、ジョグボールで

[プレイリスト] を選ぶ

- 先頭の項目を選ぶと、記録されている音楽ファイルをすべて再生します。

繰り返し再生する（リピート再生）

1 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

リピート	→	リピート (OFF)	最後の曲まで再生したあと停止します。
		1 リピート	再生中の曲を繰り返します。
		全リピート (ALL)	全曲（またはプレイリストの全曲）を繰り返します。

パソコンで使う

ソフトウェアの動作環境

	Windows				Macintosh	
	98SE	Me	2000	XP	Mac OS 9	Mac OS X
USB ドライバーのインストールは必要？	**必要です**		**不要です**		OS 標準のドライバーを使用します。	
SD Viewer、SD-Jukebox は使える？	**使えます**				**使えません**	

● SD Viewer、SD-Jukebox は Macintosh には対応していません。

■ USB 接続ができる動作環境

対応パソコン	Microsoft Windows 98 Second Edition/Millennium Edition/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional 各日本語版がプリインストールされた IBM PC/AT 互換機
	Power Macintosh (Mac OS 9/Mac OS X)

■ ソフトウェアの動作環境

		SD Viewer Version 3.2J for D-snap (SD Viewer)	SD-Jukebox Version 4.1 Light Edition (SD-Jukebox)
対応パソコン		IBM PC/AT 互換機	
対応 OS		Microsoft Windows 98 Second Edition/Millennium Edition/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional 各プリインストールされた日本語版	Microsoft Windows 98 Second Edition/Millennium Edition/2000 (Professional Service Pack 2、3、4) /XP (Home Edition/Professional および Service Pack 1) 各プリインストールされた日本語版
CPU	98SE Me	Intel Pentium Ⅲ 450 MHz または Celeron 400 MHz 以上 (互換 CPU を含む)	Intel Pentium Ⅱ 333 MHz 以上
	2000 XP		Intel Pentium Ⅲ 500 MHz 以上

		SD Viewer Version 3.2J for D-snap (SD Viewer)	SD-Jukebox Version 4.1 Light Edition (SD-Jukebox)
搭載メモリ	98SE Me	64 MB（推奨：128 MB）以上	128 MB 以上
	2000 XP	128 MB（推奨：256 MB）以上	256 MB 以上
ハードディスク		400 MB 以上の空き容量	100 MB 以上の空き容量
グラフィック表示		High Color（16 bit）以上（True Color (24 bit) 以上を推奨） デスクトップ領域 800 × 600 以上（1024 × 768 以上を推奨）	
		8 MB 以上のビデオメモリ （16 MB 以上を推奨）	—
サウンド		Windows 互換サウンドデバイス	
CD-ROM ドライブ		インストールに使用。	インストールおよび CD の録音に使用。デジタル録音対応（4 倍速以上）。（IEEE1394 接続では動作しません）
インターフェース		USB（A タイプ）	
ソフトウェア		DirectX 8.1 以降	
		Windows Media Player 6.4以降 Internet Explorer 5.5 以降	Internet Explorer 5.01 以降
その他		マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス	
		—	インターネット接続環境 （CDDB 機能を利用する場合）

- Macintosh、Power Macintosh および Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
- IBM および PC/AT は 米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel、Pentium および Celeron は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

こちらもお読みください

● 推奨環境を満たすすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

● NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作を保証しません。

● Windows 3.1/95/98(98SE は除く)/NT には対応していません。

● OS のアップグレード環境での動作は保証しません。

- マルチブート環境には対応していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- Windows 2000/XP の場合、システム管理者権限（Administrator）のユーザーでインストールして使用してください。
- 動作環境はアプリケーション単体で起動した場合に保証されます。他のアプリケーションや常駐ソフトが同時に起動している場合は、その限りではありません。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証しません。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブや USB 延長ケーブルで接続した場合は、動作を保証しません。

■ USB ドライバーは

- マルチ CPU 環境には対応していません。

■ SD-Jukebox は

- ディスクレーベル面に“COMPACT disc DIGITAL AUDIO”のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えないなどの不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店はその責任を負いません。
- CDDB 機能を利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

はじめてパソコンと接続する、その前に（インストール）

Windows 98SE、Me をお使いの場合、本機をパソコンに接続する前に USB ドライバーをインストールしてください。

- インストール終了までパソコンと接続しないでください。
- CD-ROM を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 **パソコンを起動し、CD-ROM（付属）を入れる**

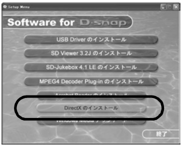
- 自動でセットアップメニューが起動します。（起動しないときは、CD-ROM 内の [autorun.exe] をダブルクリックしてください）

2 **セットアップメニューの中から、インストールしたいものをクリックする**

- インストール中に [キャンセル] などで中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

■ SD Viewer のインストール時に

・ DirectX 8.1 以降がインストールされていないメッセージが表示された場合、先にセットアップメニューから DirectX をインストールしてください。



USB ドライバーをインストールする

Windows 2000、XP をお使いの場合、OS 標準のドライバーを使うため、USB ドライバーをインストールする必要はありません。

1

［USB Driver のインストール］をクリックする

2

［完了］をクリックする

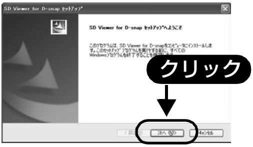
・ ドライバーを有効にするには、再起動が必要です。

SD Viewer をインストールする

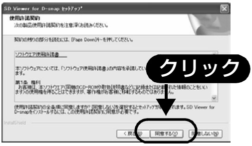
1

［SD Viewer 3.2J のインストール］をクリックする

2

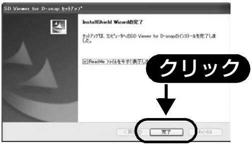


［次へ］をクリックする

3 

［同意する］をクリックする

4　画面のメッセージに従ってインストールを続ける

5 

［完了］をクリックする

・ 再起動すると、SD Viewer が使えます。

こちらもお読みください

● Windows Media Player 6.4 以降がインストールされていないメッセージが表示された場合は、インストール終了後、Windows Media Player をアップデートしてください。

● Internet Explorer 5.5以降がインストールされていない場合は、先にInternet Explorer 5.5以降をインストールしてからSD Viewerをインストールしてください。

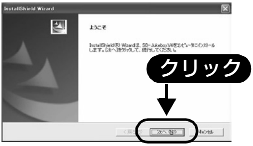
● Windows 98SE をお使いで、Microsoft Data Access Components 2.6 以下がインストールされている場合、SD Viewer をインストールする前に Microsoft Data Access Components 2.8 がインストールされます。画面の指示に従ってインストールを行ってください。

SD-Jukebox をインストールする

1

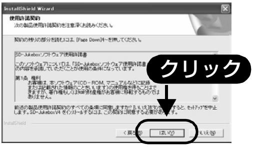
［SD-Jukebox 4.1 LE のインストール］をクリックする

2



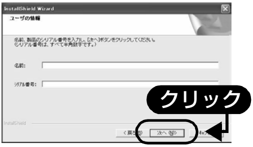
［次へ］をクリックする

3



［はい］をクリックする

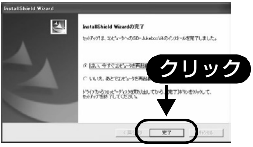
4



［シリアル番号］（CD-ROM パッケージの裏面にあります）と［名前］を入力し、
［次へ］をクリックする

5 画面のメッセージに従ってインストールを続ける

6



［完了］をクリックする

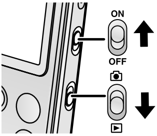
- 再起動すると、SD-Jukebox が使えます。

パソコンと接続する

Windows 98SE、Me をお使いの場合、パソコンとの接続にはUSB ドライバーが必要です。（USB ドライバーをインストールするまでは、パソコンに接続しないでください）（P63）

●パソコンの電源を入れておいてください。

1



本機の電源を入れて、再生モードにする

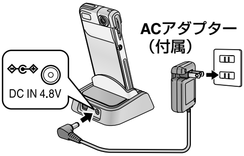
・ 必ず、充電済みのバッテリーとカードを本機に入れておいてください。

2 メニューボタンを押し、ジョグボールで設定する（P16）

セットアップ ➜ USB接続 ➜ PC接続

- 必ず、パソコンと接続する前に設定してください。

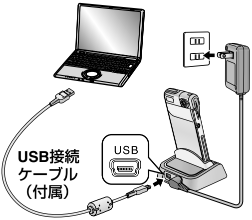
3



本機を USB クレードルに奥までしっかり差し込む

・ 必ず、AC アダプターを使って USB クレードルを電源コンセントにつないでおいてください。

4



付属の USB 接続ケーブルで USB クレードルとパソコンを接続する

・ [PC接続中です]と表示されます。
・ [PICTBRIDGE/PTP 接続中です］と表示された場合は、一度 USB 接続ケーブルを抜いて、手順 2 の設定を確認してください。

こちらもお読みください

- 本機のカードアクセスランプが点滅中に、USB クレードルから本機を取り外したり、USB 接続ケーブルを抜かないでください。ソフトが正常に動かなくなったり、転送中のデータが破損する恐れがあります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使用しないでください。
- パソコンとの接続中は AC アダプターを抜かないでください。
- パソコンの電源を切っても、本機の PC 接続モード（[PC 接続中です] と表示）が解除されない場合は、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- 本機とパソコンを接続中に、パソコンがスタンバイ・休止・サスペンドなどの省電力モードになると、サスペンドから復帰したときに、パソコン側で本機を認識しなくなることがあります。このときは本機を取り外してからパソコンを再起動してください。（パソコンと接続して長時間使用するときは、省電力モードの設定を解除しておいてください）

パソコンに正しく認識されているか確認する

正しく動作していない場合は、再度接続を確認してください。

■ Windows の場合

1

[マイコンピュータ] に [リムーバブルディスク] が追加されていることを確認する

- ドライブ名（E：など）はお使いのパソコンによって異なります。

■ Macintosh の場合

1

デスクトップに [名称未設定] または [NO_NAME] ディスクのアイコンが表示されていることを確認する

こちらもお読みください

● Mac OS 9 使用時、［名称未設定］ディスクのアイコンが出ない場合は、機能拡張マネージャーで Mac OS 基本セットに設定して再起動してください。また、［名称未設定］ディスクのフォーマットを要求するメッセージが表示された場合は、コントロールパネルにある File Exchange を開き、PC Exchange を有効にしてください。

USB 接続ケーブルを安全に取り外すには

1

タスクトレイの［ ］アイコンをダブルクリックする

2

[USB 大容量記憶装置デバイス] を選択し、[停止] をクリックする

3

[MATSHITA SD Multi Camera USB Device］が選択されていることを確認し、[OK］をクリックする

4 ［閉じる］をクリックし、ダイアログを閉じる

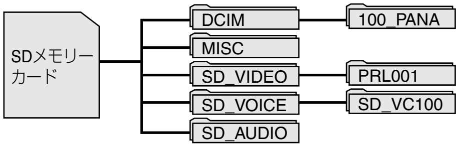
- 安全に USB 接続ケーブルを取り外すことができます。

こちらもお読みください

● Windows 98SE、Me など OS によっては、タスクトレイに安全に取り外すためのアイコンが表示されません。（OS の設定によっては非表示になる場合があります）カードアクセスランプが消えたことを確かめたあと、USB 接続ケーブルを取り外してください。

● パソコンを起動させたまま、USB クレードルから本機を取り外したり、USB 接続ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、エラーダイアログが表示されることがあります。この場合は、［OK］をクリックしてダイアログを閉じてください。
● Macintosh をお使いの場合は、[名称未設定] または [NO_NAME] ディスクのアイコンを［ゴミ箱］に捨ててから、USB 接続ケーブルを抜いてください。

本機で使用したカードのフォルダー構造について



● 本機で記録したファイルは以下のフォルダーに保存されています。

	フォルダー名	ファイル名（例）
写真	100_PANA	P1000001.JPG
MPEG4	PRL001	MOL001.ASF
ボイスメモ	SD_VC100	MOB001.VM1
オーディオ	SD_AUDIO	AOB001.SA1

こちらもお読みください

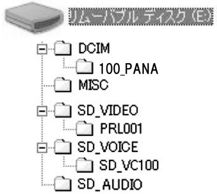
● カード内のフォルダーをパソコン上で削除しないでください。本機でカードが読み込めなくなる場合があります。
● カードをフォーマットするときは、本機または SD-Jukebox でフォーマットしてください。
● パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機では認識できません。
●［100_PANA］フォルダーなどには最大で 9999 ファイル記録できます。

- ［MISC］フォルダーには DPOF 設定ファイルが記録されます。
- ［SD_VOICE］、［SD_AUDIO］フォルダーは隠しファイルに設定されています。パソコンの設定によっては、フォルダー、ファイルはエクスプローラやマイコンピュータの画面に表示されません。

カードのファイル（[写真]・[MPEG4]）をパソコンにコピーする

1 本機とパソコンを接続する（P66）

2



［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］内の各種ファイルが保存されているフォルダーをダブルクリックする

・ Macintosh の場合は［名称未設定］または［NO_NAME］アイコン内のフォルダーをダブルクリックしてください。

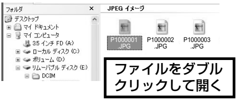
3

コピー先のフォルダー（パソコンのハードディスク）にファイルをドラッグ＆ドロップする

・ エクスプローラなどで［ボイスメモ］・［オーディオ］ファイルをパソコンにコピーしないでください。

コピーしたファイル（[写真]・[MPEG4]）を再生する

1



パソコンにコピーしたファイルをダブルクリックする

・ ファイルの種類によって、再生するソフトウェアは異なります。

ファイルの種類	ファイルを再生するソフトウェア	
	Windows	Macintosh
写真	パソコンの設定により異なります。	
MPEG4	Windows Media Player 6.4 以降	Windows Media Player for Macintosh

- [写真]、[MPEG4] ファイルは SD Viewer（付属）を使って閲覧することもできます。

こちらもお読みください

- Windows パソコンをお使いの場合、[画質] を [XF] に設定して記録した [MPEG4] ファイル（ASF 形式）をパソコンで再生するには、セットアップメニューから [MPEG4 Decoder Plug-in] をインストールする必要があります。また、[MPEG4] ファイルの再生時に音声が出ない場合、付属の CD-ROM から SD Viewer をインストールしてください。（[MPEG4 Decoder Plug-in] も同時にインストールされます）
- [画質] を [XF] に設定して記録した [MPEG4] ファイル（ASF 形式）は、Macintosh では再生できません。
- 本機とパソコンを接続中に、パソコンでカード内の [MPEG4] ファイルを再生すると、映像がコマ落ちすることがあります。この場合、再生したいファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。
- 本機で記録した 3 分以上の [MPEG4] ファイル（ASF 形式）を Windows Media Player で再生すると、途中で停止することがあります。この場合セットアップメニュー画面で [Windows Media アップデート] をクリック（または [WMP9QFE] フォルダーの [WMP9QFEInst.exe] をダブルクリック）し、メッセージに従ってアップデートしてください。（付属の CD-ROM から SD Viewer をインストールすると、同時にインストールされます）
- [ボイスメモ]・[オーディオ] ファイルは、本機とパソコンを接続したまま、SD-Jukebox（付属）を使ってカード内のファイルを再生してください。また、パソコンへのコピー（[オーディオ] ファイルは書き戻し）にも SD-Jukebox（付属）をお使いください。
（エクスプローラなどでコピーしたファイルは再生できません）

SD Viewer を使う

■ SD Viewer を起動する

1

（お使いのパソコンの OS、設定などによって、画面の表示は異なります）

［スタート］→
［すべてのプログラム］→
［Panasonic］→
［SD Viewer for D-snap］→
［SD Viewer for D-snap］を選ぶ

■ SD Viewer でパソコンにファイルを取り込む

1

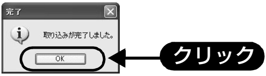
本機をパソコンに接続し(P66)、［取り込み］ボタンをクリックする

2

取り込み先を確認し、［OK］をクリックする

・ 分類する条件など、詳しくは SD Viewer の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

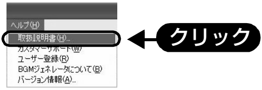
3



［OK］をクリックする

■ SD Viewer の取扱説明書を読む

1

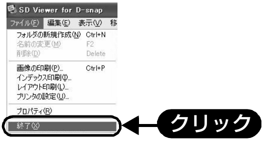


［ヘルプ］→
［取扱説明書］を選ぶ

・ Acrobat Reader が必要です。（P75）

■ SD Viewer を終了する

1



[ファイル] → [終了] を選ぶ

・ SD Viewer の右上の［×］をクリックしても終了することができます。

●SD Viewer を使うと、

・ カードの[写真]、[MPEG4] ファイルをパソコンに取り込めます。
・ 撮影日時やキーワードなどで画像を分類できます。
・ 撮影した画像に日付を入れて印刷できます。
・ ホームページ用のデータを作成できます。
・ 取り込んだ画像のスライドショーを作成できます。

- 詳しい操作方法は、SD Viewer の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

こちらもお読みください

●SD Viewer の使用中は USB 接続ケーブルを抜かないでください。

SD-Jukebox を使う

■ SD-Jukebox を起動する

1

（お使いのパソコンの OS、設定などによって、画面の表示は異なります）

**[スタート] →
[すべてのプログラム] →
[Panasonic] →
[SD-JukeboxV4] →
[SD-JukeboxV4] を選ぶ**

- 初回起動時に、ファイルインポート（ハードディスクから SD-Jukebox への音楽ファイルの取り込み）画面が表示されます。すぐにインポートを開始する場合は［はい］、後でインポートを実行する場合は［後で］をクリックしてください。

- インポートの方法については、SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）の 14 ページを参照してください。

■ SD-Jukebox の取扱説明書を読む

1 **SD-Jukebox の右上の［？］をクリックする**

・ Acrobat Reader が必要です。（P75）

■ SD-Jukebox を終了する

1 **SD-Jukebox の右上の［×］をクリックする**

● SD-Jukebox を使うと、

・ 音楽 CD から好きな曲を音楽ファイルとしてパソコンに保存したり、音楽ファイルのプレイリストを作成したりできます。
・ パソコンに保存されている音楽ファイルやプレイリストをカードに記録できます。

- 詳しい操作方法は SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

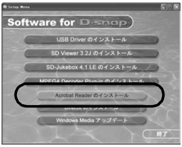
こちらもお読みください

● SD-Jukeboxの使用中はUSB接続ケーブルを抜かないでください。

ソフトウェアの取扱説明書を読む

ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。

● ご使用のパソコンにAcrobat Reader 5.0 以降がインストールされていない場合は、セットアップメニュー画面で［Acrobat Reader のインストール］をクリック（または［Adobe］フォルダーの［AcroReader51_JPN.exe］をダブルクリック）し、メッセージに従って Acrobat Reader 5.1 をインストールしてください。



ソフトウェアをアンインストールする

インストールしたソフトウェアが必要なくなったときは、パソコンからアンインストール（削除）してください。

1 **［スタート］→［コントロールパネル］内の［プログラムの追加と削除］をクリックする**

2 **削除したいソフトを選び、［変更と削除］をクリックする**

こちらもお読みください

● OS によって、アンインストールの手順は異なる場合があります。詳しくは、ご使用の OS の取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

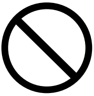
⚠ 危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを変形やショート、分解、改造、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところで充電・使用したり、放置しない

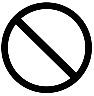


液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 外装シールを破ったり、はがさないでください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、87 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠危険

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない



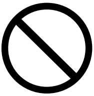
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックの充電は、専用充電器（本体）を使用する

本機以外で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない



事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

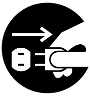
感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

異常があったときは、AC アダプターを抜く
・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
・落下などで外装ケースが破損したとき
・煙や異臭、異音が出たとき



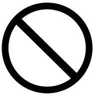
ACアダプターを抜く

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● バッテリーを外してください。

● 販売店にご相談ください。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグを破損するようなことはしない（加工したり、熱器具に近づけたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- プラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機やカード、バッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

⚠注意

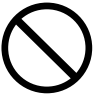
フラッシュの発光部分を直接手で触らない

接触禁止

やけどの原因になることがあります。

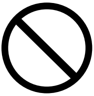
● 発光直後は、しばらく触らないでください。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない



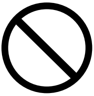
強い光により、目を痛める原因になることがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



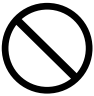
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン（ステレオインサイドホン）使用時は、音量を上げすぎない



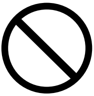
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乗り物を運転中は、ヘッドホン（ステレオインサイドホン）で使わない



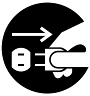
- 周囲の音が聞こえにくく、事故の原因になることがあります。
- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

USB クレードルの電源には、付属の AC アダプター以外は使用しない
USB クレードルの端子を金属でショートさせたり、高温になる場所に放置しない



火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、AC アダプターを抜く



ACアダプター
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度取り出してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする

また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、レンズに傷が付く、レンズがくもるなど、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。
  万一雨水や水滴がかかったときも、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない また、ズボンのポケットなどに入れない

● 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。キャリングケース（付属）に収納してください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

● お手入れの際は、バッテリーを取り出しておいてください。
● 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
● 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
● レンズや液晶モニターは、クリーニングクロス（付属）で汚れをふき取ってください。綿棒など先のとがったものでふき取らないでください。レンズに傷が付いたり、割れるなど本機の故障につながります。

AC アダプターについて

● 必ず付属の AC アダプターをお使いください。
● ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
● 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
● 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、約0.1 Wの電力を消費しています）
● AC アダプターの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないことがあります。このようなときは、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、使用する直前に本機に入れてください。（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにお気を付けください）

長時間使用しないときは、必ずバッテリーを取り出す

- 入れたままにしておくと、本機の電源が切れていても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターと USB クレードル（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P92）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

保存時のお願い

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：１５℃～２５℃、推奨湿度：４０％～６０％です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。

- 長期間保管する場合、１年に１回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- バッテリーには、寿命があります。充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
  詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池（バッテリー）の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion

充電エラーについて

充電ランプの点滅速度が早いまたは遅いときは、以下の状態が考えられます。

約 6 秒間隔で点滅（約 3 秒点灯、約 3 秒消灯）：

- バッテリーが過放電されている場合です。充電はできますが、場合によっては正常に充電が始まるまでに数時間かかる場合があります。

約 0.5 秒間隔で点滅（約 0.25 秒点灯、約 0.25 秒消灯）：

- バッテリーや周囲の温度が極端に高過ぎる、もしくは低過ぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。それでも充電できないときは、本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P107 ～ 111）にお問い合わせください。

消灯：

- 充電が完了しています。
- 充電が完了していないのに、充電ランプが消灯しているときは、AC アダプターまたはバッテリーの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P107 ～ 111）にお問い合わせください。
- バッテリーについて、詳しくは 86 ページを参照してください。

つゆつきについて

- 夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。
- つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

● 次のように温度差、湿度差があると起こります。
- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

● 電源を切って、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然にとれます。

● 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、つゆつきの発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

液晶モニターについて

● 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。

● 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。また、硬いものを当てないでください。表面に傷が付く原因になります。

● コントラストの激しい被写体にレンズを向けていると、液晶モニターにムラや残像が出る場合がありますが、異常ではありません。

● 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。

カードについて

カードアクセスランプが点滅中（または［カードにアクセス中です］と表示中）は、カード / バッテリー扉を開けてカードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

● カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して保管する

● 使用後や保管、持ち運び時は収納袋に入れてください。
● カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ miniSD™ カード（別売）について

● miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターを装着してご使用ください。miniSD™ カードのみを入れると、本機やカードが故障する場合があります。
● miniSD™ アダプターのみを本機に入れないでください。正常に動作しない場合があります。

記録されるファイルについて

本機は電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。

● DCF 規格に準拠したファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。
● ［写真］または［MPEG4］ファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。

● 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消失することがあります。記録したデータの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

フォーマットについて

● フォーマットは本機で行ってください。パソコンでもフォーマットできますが、パソコンでフォーマットする場合は、SD-Jukebox で行ってください。特に音楽ファイルが入ったカードは、音楽ファイルを記録した SD-Jukebox を使用し、チェックインしたあとにフォーマットしてください。（詳しくは、SD-Jukebox の取扱説明書をお読みください）
● パソコン（のエクスプローラ）ではフォーマットしないでください。本機で認識しなくなる場合があります。
● パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合は、再度本機でフォーマットしてください。
● 本機でフォーマットしたカードは、他の機器で使用できない場合があります。その場合は使用する機器でフォーマットしてください。
● カードをフォーマットしても使えない場合は、本機またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

デモモードについて

● 本機にカードが入っていないときに電源を入れ、モードボタンを押すと、デモモード（スクリーンセーバー）になります。
● スクリーンセーバー中にボタン操作を行うと、静止画擬似撮影モードになります。
● 静止画擬似撮影モードでは、静止画撮影を疑似体験できます。（約 1 分間ボタン操作がないと、スクリーンセーバーに戻ります）
● AC アダプターを使用していない場合、スクリーンセーバーで約 5 分間ボタン操作がないと、自動的に電源が切れます。
● デモモードを解除するときは、本機の電源を切ってから、本機にカードを入れてください。

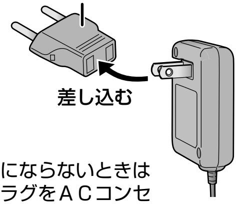
海外で使う

ACアダプター（付属）を海外で使用するには

ACアダプターは、全世界の電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

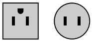
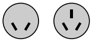
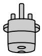
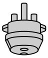
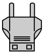
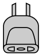
国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

- 変換プラグのほこりなどは定期的にとってください。
- 本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。



ご使用にならないときは変換プラグをＡＣコンセントから外してください。

■ 電源コンセントのタイプと形状

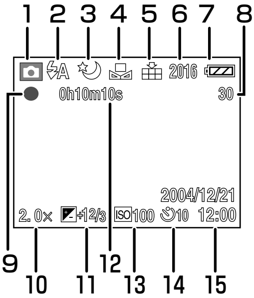
タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B BF	イタリア	C
ウクライナ	C	オーストリア	C	オランダ	C	カザフスタン	C
ギリシャ	C	スイス	B, C	スウェーデン	C	スペイン	A, C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C	ベラルーシ	C	ベルギー	C
ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア							
インド	B, C	インドネシア	B, C	シンガポール	B, BF	スリランカ	B
タイ	A BF C	大韓民国	A B C	台湾	A	中華人民 共和国	A, B BF C, S
ネパール	C	パキスタン	B, C	バングラデ シュ	C	フィリピン	A, C S
ベトナム	A, C	香港 特別行政区	B, BF	マカオ 特別行政区	B, C	マレーシア	B, C BF
モルジブ	B	モンゴル	C				
オセアニア							
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S
ニュージーランド	S	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF C, S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B, C
ハイチ	A	パナマ	A	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A, C	ベネズエラ	A	ペルー	A, C	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B, C	ヨルダン	B, BF
アフリカ							
アルジェリア	A, B BF	エジプト	B, C BF	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B, C	ザンビア	B, BF	タンザニア	B, BF	南アフリカ 共和国	B, C
モザンビーク	C	モロッコ	C				

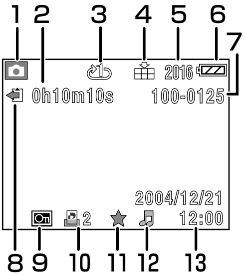
画面の表示

記録時の画面表示



1 撮影モード（P23）
2 フラッシュ（P32）
3 ナイトモード（P35）
4 ホワイトバランス（P34）
5 画質（P28）
6 画像サイズ（P28）
7 バッテリー残量
8 残り枚数 / 時間
9 停止 / 記録中
10 デジタルズーム（P30）
11 露出補正（P36）
12 カウンター表示
13 ISO 感度（P37）
14 セルフタイマー（P33）
15 日付 / 時刻表示（起動時 / 時計設定後約 5 秒間表示されます）

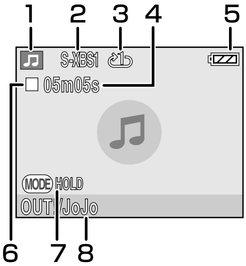
再生時の画面表示



1 再生モード（P38）
2 カウンター表示
3 リピート再生（P41）
4 画質（P28）
5 画像サイズ（P28）
6 バッテリー残量
7 フォルダー / ファイル番号
8 停止 / 再生 / 画像読み込み中
9 ロック設定（P43）
10 DPOF プリント枚数（P52）
11 ★ マーク設定（P45）
12 スライドショー設定（P48）
13 撮影日時

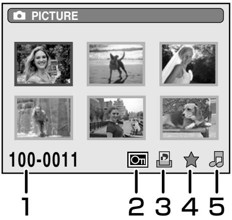
・ HDTV（16:9）の画像の再生中は、画面の上下に黒帯が表示されます。

音楽再生時の画面表示



1 音楽プレーヤーモード（P55）
2 音質（EQ）（P57）
3 リピート再生（P58）
4 再生時間
5 バッテリー残量
6 停止 / 再生 / 早送り / 早戻し
7 [HOLD] 表示（P57）
8 タイトル / アーティスト名

サムネイル画面の表示



1 フォルダー / ファイル番号
2 ロック設定（P43）
3 DPOF プリント設定（P52）
4 ★マーク設定（P45）
5 スライドショー設定（P48）

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに表示します。

メッセージ	確認していただきたいこと
バッテリーが なくなりました	充電し直してください。（P12）
バッテリーを 入れてください	バッテリーを正しく入れてください。 （P10 ～ 11）
	バッテリーが過放電の状態でも表示されます。 バッテリーを充電（P12）してください。
カードを入れてください	カードを正しく入れてください。 （P10 ～ 11）
カードを確認して ください	マルチメディアカードは使用できません。
	カードを入れ直してみてください。 それでも表示が消えない場合は、カードをフォーマット（P19）してください。 （フォーマットを行うと、カード内のデータはすべて削除されます）
カード残量がありません	新しいカードに取り替える、または不要なデータを削除（P42）してください。
カードがロック されています	カードの書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。
カードにアクセス中です	データの処理中です。しばらくお待ちください。
写真ファイルが ありません	［写真］ファイルが入ったカードを入れてください。
MPEG4 ファイルが ありません	［MPEG4］ファイルが入ったカードを入れてください。
ボイスメモファイルが ありません	［ボイスメモ］ファイルが入ったカードを入れてください。
音楽ファイルが ありません	音楽ファイルが入ったカードを入れてください。

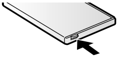
メッセージ	確認していただきたいこと
このファイルは 再生できません	規格外のファイルは再生できません。 音楽ファイルは SD-Jukebox を使ってカードに記録してください。
ファイルがロック されています	ロックを解除（P43）してから実行してください。
対象となる写真ファイルがありません	スライドショーで再生できるファイル、または DPOF 設定できるファイルがありません。
設定枚数を超えています	スライドショーで再生する枚数、DPOF で設定するプリント枚数が制限を超えています。
この写真ファイルには 設定できません	本機で撮影された画像を選んでください。
再生モードに 設定してください	パソコン・プリンターと接続するときは、撮影 / 再生切換えスイッチを再生モード［ ▶ ］に切り換えてください。（P49、66）
AC アダプタとバッテリ 両方を使用してください	パソコン・プリンターと接続するときは、AC アダプターを接続してください。（P49、66）
電源を入れ直してください	一度、電源を入れ直してください。
エラー / ERROR	一度電源を切ってから、バッテリーを抜き差ししてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P107 ～ 111）にお問い合わせください。

困ったときは（Q&A）

当社サポート情報ホームページも合わせてご覧ください。
http://panasonic.jp/support

Q（質問）	A（回答）
電源が入らない	もう一度、電源を入れ直してください。 バッテリーが正しく入っていますか？ バッテリーが消耗していませんか？ バッテリーを充電する（P12）か、十分に充電されたバッテリーを入れてください。
電源が入っていてもすぐに切れる	バッテリーが消耗していませんか？ バッテリーを充電する（P12）か、十分に充電されたバッテリーを入れてください。
ジョグボール等を操作できない	［HOLD］が表示されていませんか？ モードボタンを約 2 秒以上押して表示を消すと操作できるようになります。
モードボタンを押しても、モードを切り換えられない	カードが入っていますか？ カードが入っていないときにモードボタンを押すと、デモモード（P91）になります。電源を切って、カードを入れてください。
液晶モニターの色合いや明るさが変わる	蛍光灯下では、画面の色や明るさが変化する場合があります。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。（P19）
記録できない	カードが入っていますか？ カードの書込み禁止スイッチが［LOCK］になっていると記録できません。 カードの容量は十分ですか？ 不要なファイルを削除してください。（P42）
カードへの記録に時間がかかる	カードの種類によっては、［MPEG4］撮影時カードへの記録に時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。
記録の途中で止まってしまう	カードの種類によっては、［ボイスメモ］の記録が途中で終了する場合があります。

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像がモザイク状になっている	被写体や撮影条件によっては、モザイク状になることがあります。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる	液晶モニターで見る映像と実際に撮影される画像とでは、明るさが異なる場合があります。 特に暗い場所で長時間露光で撮影するときなどは、液晶モニターでは暗く見えますが、実際は明るく撮れます。
液晶モニターに赤い縦じまが出る	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、異常ではありません。被写体に明るい部分があると出ます。動画撮影では記録されますが、静止画像には影響しません。
フラッシュが発光しない	フラッシュを［発光禁止］に設定していませんか？ 設定を確認してください。（P32）
フラッシュ撮影された画像が暗い	フラッシュ発光部を指などでふさいでいませんか？被写体から離れすぎていませんか？
フラッシュ撮影された画像の色合いが合わない	ホワイトバランスを［セットモード］で設定していても、フラッシュ撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。フラッシュ撮影時は［オート］に設定しておくことをおすすめします。 フラッシュ撮影時は、自動的にフラッシュ光に適したホワイトバランスが設定されますが、フラッシュ光が十分に届かない被写体ではホワイトバランスが合わない場合があります。
再生できない	カードが入っていますか？ カードに再生できるファイルがありますか？ 再生モードに設定されていますか？
スライドショーで再生できない画像がある	他機で撮影された画像はスライドショーで表示されない、または表示に時間がかかる場合があります。
音楽を再生できない	カードに再生できる音楽ファイルがありますか？

Q（質問）	A（回答）
画像の再生中や一覧画面に［×］マークが表示される	形式の異なるデータや壊れたデータです。 このようなデータは再生できません。
他の機器にカードを入れても再生できない	本機で撮影した［MPEG4］ファイルを他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
パソコンに接続して画像を転送できない	パソコンと正しく接続されていますか？（P66） パソコンが本機を正常に認識していますか？（P67）
PictBridge 対応のプリンターに接続してもプリントできない	本機を再生モードにして、メニューで［セットアップ］→［USB 接続］→［ピクトブリッジ］に設定されているか確認してください。（P49）
プリントした画像の上下に黒い帯が出る	画像サイズを［HDTV］にして記録した［写真］ファイルをプリントしていませんか？ 画像のサイズを確認してください。（P28）
再生・記録ができず、画面が動かなくなった ［写真］・［MPEG4］撮影時に、液晶モニターが真っ暗のままになる	電源スイッチを［OFF］にしてください。電源が切れないときは、バッテリーを抜いてください。そのあと電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P107 ～ 111）にお問い合わせください。
［ボイスメモ］や［オーディオ］ファイルを聞いていたら、急に液晶モニターが消灯した	［ボイスメモ］の記録・再生時、［オーディオ］の再生時は、約 10 秒間、本機を何も操作しないと液晶モニターが消灯します。メニューボタンを押すと点灯しますが、そのあと何も操作しなければ、約 10 秒後に再び消灯します。
バッテリーが取り出せない	バッテリーの突起部を引っ張って取り出してください。
時計が合っていない	本機を長期間放置すると、時計設定がリセットされることがあります。時計設定の画面が表示されたときは、再度設定し直してください。 時計設定をしないで撮影すると、日付は［2000/1/1 0:00］と記録されます。

Q（質問）	A（回答）
Windows の［エクスプローラ］などでレタッチファイル（拡張子：ped）をダブルクリックしてもレタッチソフトが起動しない	本機に付属の SD Viewer と SD マルチカメラ / SV-AS10（別売）に付属の SD Viewer Ver.2.1J の両方をパソコンにインストールしている場合、どちらか一方をアンインストールすると、レタッチファイル（拡張子：ped）の関連付けも削除されてしまいます。この場合、両方の SD Viewer を一度アンインストールし、使用するソフトだけをインストールし直してください。
パソコンと接続するとカードアクセスランプが点滅したままになる	NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れていませんか？この場合、［Administrator（コンピューターの管理者)］（またはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、［マイコンピュータ］から［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックして［取り出し］を選び、カードアクセスランプが点灯したのを確認してから本機とパソコンの接続を解除してください。
USB ドライバーを正しくインストール後、本機をパソコンに接続しているにもかかわらず、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示される	①［次へ］をクリックする ②［使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する］が選ばれていることを確認し、［次へ］をクリックする ③ 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる（インストール画面が表示された場合は、［終了］をクリックする） ④［検索場所の指定］のみを選び、［参照］をクリックする ⑤ CD-ROM アイコンをダブルクリックし、［USB_ Driver］をダブルクリックし、［files］をクリックして［OK］をクリックする (④で［参照］をクリックせず、「E:￥USB_ Driver￥files」（CD-ROM ドライブが E の場合）と入力しての指定もできます） 以降、ウィザードに従ってインストールしてください。

さくいん

■ ア行

アイコン表示 19
イコライザー 57
液晶モニター
. . . . 19、89、94
オーディオ（音楽）
再生 54
プレイリスト 58
オートパワーオフ 19
お気に入り 45
音量調整 40

■ カ行

カード
記録枚数・時間 26
SD メモリーカード . . . . 5、90
画質モード 28
画面表示
一覧 94
エラー表示 96
キャリングケース 57

■ サ行

削除 42
サムネイル表示 41
自分撮り 31
写真
記録 23
再生 38
画像サイズ 28
充電 12
ショートカットメニュー . . . 21
ズーム
記録（デジタルズーム）. . . . 30
再生（ターゲットズーム）. . . 44
ステレオインサイドホン . . . 55
スライドショー
再生 48
作成 46
設定リセット 19
セットアップメニュー . . . 18
セルフタイマー 33

■ タ行

ターゲットズーム 44
つゆつき 88
デモモード 91
時計設定 20

■ ナ行

ナイトモード 35

■ ハ行

パソコン 59
バッテリー 86
　出し入れ 10
　充電 12
番号リセット 25
反転 31
日付プリント 53
フォーマット ..... 19、91
フラッシュ 32
プリント 49
プレイリスト 58
ボイスメモ
　記録 23
　再生 38
ボリューム
　メニュー 18
　ジョグボール 40
　リモコン 9
ホワイトバランス 34

■ マ行

マイク 25
マクロ撮影 30
メニュー
　設定 16
　セットアップメニュー 18
　ショートカットメニュー ... 21
モード 15
　記録 23
　再生 38
モニター調整 19

■ ラ行

リピート再生
　オーディオ 58
　MPEG4 41
リモコン 9
露出補正 36
ロック設定 43

■ 英・数字順

AC アダプター ... 12、85
DPOF プリント 52
ISO 感度 37
MPEG4
　記録 23
　再生 38
PictBridge 49
SD メモリーカード ... 5、90
SD-Jukebox .... 65、73
SD Viewer ...... 63、72
USB クレードル ... 12、66
USB ドライバー 63

その他

仕様

■ SD マルチカメラ

電源	DC 4.8 V（AC アダプター使用時） DC 3.7 V（バッテリー使用時）
消費電力	MPEG4 録画 1.7 W（AC アダプター使用時） 1.5 W（バッテリー使用時） MPEG4 再生 0.9 W（AC アダプター使用時） 0.7 W（バッテリー使用時） 音楽再生 0.1 W（バッテリー使用時）

撮像素子
1/3.2 inch インターライン型
CCD 撮像素子
RGB 原色フィルター内蔵

カメラ有効画素数
約 310 万画素

走査方式
インターレーススキャン方式

標準被写体照度
3000 lx

最低照度
80 lx

焦点距離
4.5 mm

35 mm 換算
34.8 mm

デジタルズーム
4 倍

F 値
4.0

最短撮像距離
レンズ前面より約 60 cm
（マクロ：約 10 cm）

マイク
モノラルマイクロホン（内蔵）

モニター
3.8 cm（1.5 型）液晶モニター
（約 6,1 万画素）

フラッシュ
GN 3.7（内蔵）

記録メディア
SD メモリーカード

静止画圧縮形式
JPEG 準拠

動画圧縮形式
MPEG4 SD-Video 規格準拠

音声圧縮方式
MPEG4: G.726 準拠
ボイスメモ : G.726 準拠

音声伸長方式
AAC/MP3/WMA
（サンプリング周波数 32 kHz、
44.1 kHz、48 kHz 対応）

音声入力
モノラルマイクロホン（内蔵）

音声出力
ヘッドホン出力：
3.5 mW+3.5 mW
負荷インピーダンス 16 Ω

外形寸法
約　幅　53.2 mm
× 高さ　103.0 mm
× 奥行　14.0 mm
（最薄部 9.9 mm）

本体質量
約 59 g（バッテリーパック、
SD メモリーカード含まず）

使用時質量
約 75 g

推奨使用温度
0 ～ 40 ℃

許容相対湿度
10 ～ 80%

■ USB クレードル

入力	DC 4.8 V　1.0 A
出力	DC 4.8 V　1.0 A

■ AC アダプター

電源	AC100-240 V　50/60 Hz
入力容量	18 VA
出力	DC 4.8 V　1.0 A

■ バッテリーパック

最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.7 V
定格容量	530 mAh

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間(「本体」にはCD-ROMは含みません)

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このSDマルチカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SDマルチカメラ
品　番	SV-AS30
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換·調整·修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

北 海 道 地 区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	**函館**	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631

東 北 地 区

青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎ (017)739-9712	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	**山形**	山形市平清水1丁目1-75 ☎ (023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555

群馬 高崎市大沢町229-1 ☎ (027)352-1109

茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (029)864-8756

埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960

千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034

東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780

山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171

神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)847-9720

新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683

富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705

福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606

長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)86-9209

静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000

名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225

岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719

岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010

高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613

三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**山口** 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎ (083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

九州地区			
福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**宮崎**	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**熊本**	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**天草**	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**鹿児島**	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
		大島	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区		
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、
あらかじめご了承ください。

0904

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	SV-AS30
販売店名	電話（　　）　－		
お客様ご相談窓口	電話（　　）　－		

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検 **長年ご使用のACアダプターの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ

〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

システム事業グループ

〒571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

F0904Kh3114(20000Ⓓ)

Panasonic　SDマルチカメラ　**SV-AS30**　**取扱説明書**